

刑事訴訟法案委員中特別調查委員會會議錄(速記)第二回

大正十一年二月二十一日午前十時五十分開議

委員長 鵜澤 總明君

磯田桑三郎君

出席政府委員左ノ如シ

司法省參事官

司法事務官

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

横山金太郎君

刑事訴訟法案

○鵜澤委員長 ソレデハ委員會ヲ開キマス、第三章訴訟能

力、第三十六條

○横山(勝)委員 便宜上三十六條ト、三十七條、三十八條、詰リ第三章ダケハ一括シテ質問ヲ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○勸業委員長 承知致シマシタ、第三十六、第三十七、第三十八ヲ一括シテ議題ニ供シマス

○横山(勝)委員 御尋ね致シマスガ、此第三章ノ訴訟能力ト云フ題下ニ規定セラレタルコトハ、本案ノ獨創デアルヤウニ思ヒマスルガ、此訴訟能力ト云フ意味ハ、極ク廣ク解釋致シマシテ、刑事被告人トナツテ、或ハ豫審、或ハ檢事、或ハ公判廷等ニ於テ、被吾人ガ訊問ヲ受クルト云フヤウナ場合ニ、其訊問ニ對シテ或ハ答辯スル、或ハ證據方法ヲ提出スルト云フヤウナ事ガ、全部此訴訟能力ト云フ文字ノ中ニ含マレテ居ルノデアリマスカ、如何デゴザイマスカ、御説明ヲ願フテ置キマス

○林政府委員　今御尋ネノヤウナ意味ニ解シテ居リマス

○横山(勝)委員　サウシマスルト、此事件ノ審理中ニ、精神

病者トナツ場合例ヘテ見レバ三百七條ニ「豫審判事ハ左ノ場合ニ於テハ豫審手續ヲ中止スル事ヲ得」サウシテ「被告人心神喪失ノ狀態ニ在ルトキ」ト云フコトヲ規定シテテ被告人居リマフ、ソレカラ三百五十四條ト、被告人が心神喪失ノ狀態ニ在ルトキハ、是亦公判手續ノ停止ガ出來ル、斯ウ云フ規

定ガアリマスルガ、此規定トノ關係ヲ承ハリタイノデアリマス、一面ニ於テ手續ヲ中止スルコトノ規定ヲ設ケ、一面ニ於テ訴訟能力ノ條下ニ於テ、法定代理人ニ依テ訴訟行爲ガ出來ル、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノハドウ云フコトニナリマスルカ、其關係ヲ承ハリタイ

○政府委員 三十七條ノ規定ハ、今日ノ刑罰法中特別法ニ於キマシテハ、刑法ノ一般ノ原則ノ適用ヲ除外シテ居ルモノガアリマス、例ヘバ酒造稅法デアリマスルトカ、サウ云フ風ナ取締法規、サウ云フ場合ニ於テハ、例ヘバ三四歳位ノ幼ナ者、是ガ營業ノ主タルノ故ヲ以テ、罰金ノ制裁ヲ受ケルト云ケコトガアルコトニナツテ居リマス、サウ云フ場合ニト云七條ニ依リマシテ、法定代理人ガ本人ヲ代表シテ訴訟行爲爲スト云フ意味合ノ規定デアリマス、ソレカラ御引用ノ三百七條三百五十四條等ハ、明文ニアリマスル通り、心神喪失ノ狀態、自然的ニマダ發達シナイ場合デナクシテ、病的ニ精神病者デアル、異常ノ狀態ヲ呈シテ居ルト云フ、斯ウ云フ場合ノ規定デアリマス、全然ハ關係ガナイ積リデアリマス

○横山(勝)委員 刑法ノ第三十九條ハ心神喪失者ノ行爲ハ
事ヲ罪セズ、ソレカラ第二頂ハ心神耗弱者ノ行爲ハ其刑ヲ
輕減スト、斯ウ云フ例ヲ用キテ事件、ソレハ今御引キニナリ
マシテ取締法規ニ違反スル場合ニ於テ代表スルト云フコト
ト、例ヘテ見レバ、酒造稅法違反ノ如キ罪デアルト云フコト
デアル、サウ云フ罪ニ付テ、被告人ガ意思能力ヲ有セザルモ
キト云フノハ、單ニ未成年者ノ場合モアリマセウケレドモ
併ナガラソレ等ノ罪ヲ犯シタル人ト雖モ、矢張此刑法三十
九條ノ心神喪失、心神耗弱ノ場合ガアルト思フ、ソコデ今ノ
規定ト重複スルヤウナ意味ニナリマセヌカ、此處ガ疑問デ
アリマス

○林政府委員 其意味ノ御尋ニ對シテハ、三十七條ノ方ハ全クサウ云フ特別ノ犯罪ニ付テ、法定代理人ガ代表シテ其行爲ヲスルコトガ出來ルコトニナツテ、被告人ノ權利利益ノ擁護ト云フコトヲ、之ニ依ツテ全ウスルコトガ出來ルノデアリマスガ、實際ニ於テ今マデ斯ウ云フ犯罪ニ付テ、心神喪失ヲリマスガ、被告人トナツタ例ガナイモノデアリマスカラ、メレデ被告ハ實際アリマシタ未成年者ノ例ヲ申シタノデアリマスケレドモ、若シサウ云フ事ガアレバ、サウ云フ特殊ノ犯罪ニ付テハ、三十七條ノ適用ガアリマシテ、豫審手續ノ停止トカ公判手續ノ停止ト云フコトノ適用ハナイコトニナル

○横山(勝)委員 併シ三百七條ノ方ハ、御承知ノ通り豫審
ノ規定デ、サウシテソレハ被告人ガ心神喪失ノ狀態ニ在ル
間ハ、豫審手續ヲ中止スルコトヲ得、斯ウ云フコトニナッ
テ居リマスカラ、豫審判事ガ自由ニ中止シナイデ、法定代理人
ニ依ッテ訴訟手續ヲ進行シテ行クコトモ出來ル、斯ウ云フヤ

五十四條デ、被告人心神喪失ノ狀態ニ在ルトキハ公判手續ヲ停止スル、此時分ニハ必ズ停止シナケレバナラス、サウウスルト酒造稅法違反事件デ、未成年者ガ罪ヲ犯シテ、意思能力ヲ有シナイト云フ場合ニハ、法定代理ガヤルト云フコトニシテ差支アリマセヌケレドモ、今ノヤウナ二ツノ場合ノ例ヲ持ツテ來ルト、公判ニナツテ被告人ガ心神喪失ノ狀態ニ至ツタ場合デアリトスレバ、此三十七條ノ規定ニ從ツテ、一面ニ於テハ法定代理人ガ訴訟行為ヲスルコトガ出來ルヤウニ思ヒマス、即チ禁治產ニ付セラレタ場合ニ、其法定代理人ガ後見人ト云フ名前ニ依ツテ、三十七條ノ私訴ヲ進行スルコトガ出來ル、又一面公判廷ノ場合ニ於テ、サウ云フ場合ニ全然手續ヲ停止ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、三百七條ノ規定ハ、或ハ兩々相俟ツテ適用ガ出來ルト思ヒマスガ、三百五十四條トハドウシテモ衝突スルヤウニ思ハレマス、併シ三十七條ノ規定ノ中、サウ云フ特殊ノ場合ハ包含セヌト云フ意味デアリマスガ、文章ノ解釋ハサウ云フ風ニ思ハレマス、多クノ場合ニ於テ、酒造稅法違反ノトキ、心神喪失ノ者ガアツカドウカハ、實例ハドウカ知レマセヌケレドモ、吾々ノ解釋デハ、三十七條ト三百五十四條ハ、ドウシテモ衝突スルコトニナリハセヌカト思ヒマスカラ、今一應御説明ヲ願ヒタイ

○林政府委員　豫審及公判ノ章ニ於ケル公判若クハ豫審手續停止ノ規定ニ於テハ、一般ノ場合ニ付テ規定シマシタノノミデ、三十七條ハ特別ノ事件ニ付テノ規定デアリマスカラ、解釋トシテハ先程申シタヤウナルコトハ疑ナイト考ヘマス、法律ノ精神カラ申シマシテモ公判手續ナリ、豫審手續ノ停止スルノハ何デアルカ、被告人自身訴訟行爲ハ出來ナイシ、又訴訟行爲ヲスル者モナイ、即チ被告人ノ權利利益ヲ防禦スルコトガ完全ニ備フテ居ラマスカラ、ソコデ公判手續ノ停止シナクレバナラヌト云フコトニナル、サウ致シマスルト、代表者ガ成リ代フテ其行爲ガ出來ルノデアリマスカラ、此場合ハ除外スルト云フコトハ、解釋トシテ疑ハナイ、要スルニ一般ノ場合ト特別ノ場合トノ規定デアルカラ、特別ノ場合ハ

勝ツト云フ解釋ノ仕方デ差支ナイト考ヘマス

○横山(勝)委員 念ノ爲ニ極メテ置キタイノデス、今ノ御説明デ略々分リマシタガ、假ニ酒造稅法違反ノ事件ガ進行シツ、アツテ、豫審ノ場合ハ差支アリマセヌカラシラレデ宜シウゴザイマスガ、公判ニ移ツタ場合ニ、突然中途カラ心神喪失ノ狀態トナリ、是ガ民法上禁治產トナリ、後見ニ付セラレタト假定シマス、サウスルト、サウ云フヤウナ場合ハ三十七條ノ規定ニ依ツテ、法定代理人ガ事件ヲ進行シテ行クノデアル、具體的事實ニ付テハ答辯ヲ求メタイト思ヒマス

○林政府委員 今御尋ノ場合ニハ、御意見ノ如キ法定代理人ヲ喚出シテ、サウシテ訴訟手續ヲ行ハシメタ上デ裁判ヲスル、斯ウ云フコトニ無論ナラナケレバナラヌト思ヒマス

○横山(勝)委員 此ハ此章ニハ御質問ハアリマセヌ

○横山(勝)委員 宜シウゴザイマスガ、第四章辯護及輔佐、第三十九條

○横山(勝)委員 此條文ニ付テハ、既ニ大體質問ニ於テ、質問及答辯ガアリマシテ略々了解シテ戻リマス、此ノ公訴ノ提起アリタル後何時ニテモ辯護人ヲ選任スルコトヲ得ル

○横山(勝)委員 公判ニ至ツタ場合ハ毫モ疑問ハ起ツテ参リマセヌガ、豫審ニ付セラレテ、直ニ辯護人ノ選任ガ出來ルコト云フコトニナリマス、此規定ニ於テ、辯護人ガ豫審判事ノ面前ニ至ツテ、如何ナル訴訟行為ヲ爲スコトガ出來ルカ數箇所點在シテ居ル所モアルヤウデアリマスガ、從來ハ御承知ノ通り公判ニ至ツテ始メテ辯護人ノ職務ト云フモノヲ認メ、始メテ辯護人ノ選任ト云フモノヲ許サレテアツタノデアリマス、ソレヲ本法ニ依ツテ何時デモ辯護人ノ選任ガ出來ルト云フコトニ致ス以上ハ、其利益ト云フモノガアル筈デアアル、ドウ云フ利益ガ其處ニ出テ來ルノデアリマスカ、法文ガアリマスレバ、其關係ノ法文ヲ御示シノ上デ、此三十九條ニ依ツテ受ケル關係者ノ利益ヲ御指摘ヲ願ヒタイ

○林政府委員 本案ニ於キマシテハ、公判ノ手續ノミナラズ、豫審手續ニ於テモ、辯護人ノ干與ヲ認メマシタノデ、之ニ依ツテ被告人ノ權利利益ヲ擁護スル上ニ於テ、非常ニ進歩デアラウト考ヘマス、辯護人トナツタ以上ハ、要スルニ法律ノ各所ニ如何ナル權利ヲ行ヘルカト云フコトハ書イテアリマスガ、ソレハ各條ニ付テ申上ダタイト考ヘマスガ、大體申上ダマスルト云フコト、第一ニ必要ナル處分ヲ請求スル權利ガアル、三百五條、ソレカラ豫審判事ガ豫審手續ヲシマス場合ニ、辯護人ガ立會フ權利ガアル、是ニ臨檢、搜索、差押是ハ原則的ニアル、證人訊問、鑑定等ニ付テハ、一定ノ條件ノアル場合ニアル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ條文ヲ御覽ヲ願ヒマス、ソレカラ第三ニハ豫審中辯護人ノ立會フコトガ出來ル豫審手續ニ關スル書類ハ之ヲ權利トシテ

閱覽シ、及謄寫スルコトガ出來ル、斯ウ云フ事ガ第三デアリマス、ソレカラ第四ニハ、ソレ以外ノ豫審ニ關スル書類デモ豫審判事ノ許可ヲ得テ閱覽スルコトガ出來ル、大體此四ガ主ナル事ニナツテ居リマス、之ニ依ツテ被告人ノ爲ニ十分ニ防禦權ヲ行使スルコト云フ機會ガ與ヘラレルト云フ趣旨デ、リマス

○横山(勝)委員 分リマシタ—アリマセヌ

○横山(勝)委員 第四十條、第四十一條、第四十二條、一括シテ議題ニ供シマス

○横山(勝)委員 是ハ小サイ問題デアリマスガ、第四十二條ニ付テ御伺シタイノハ、從來ハ御承知ノ通り連署ノ書面ヲ以テ出スルト云フ形式ヲ習慣トシテ執ッテ居リマス、併ナラガ時トシテ便宜上別ニ書面ヲ出サナイデモ、公判廷ニ於テ辯護人ノ依託ヲ受ケルコト云フコトノ事實關係ヲ、裁判官ガ認定シタル場合ニハ、書面ガナクテモ濟シタノデアリマス、サウ云フ場合ハ、矢張別ニ本條デ之ヲ禁止スル譯デハナイト思ヒマスガ、如何デス

○林政府委員 辯護人ノ選任ノ形式ニ付テハ、色々論ガアツタノデアリマス、併シ斯ウ云フ事ハ、キツカリ定メテ置イタ方ガ宜カラウ、サウシテ連署シタ書面ヲ出スト云フコトハ、エライ手數ノ事デモナイノデアリマス、總テ此形式ヲ踏シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ意味ニナツテ居リマス

○横山(勝)委員 今私ノ申上ダクヤウナ例ガ能ク起ツテ來ルノデアリマス、今公判廷ガ開ケルト云フ場合ニ、書面ガ無クテモ、委託ヲ受ケルト云フ合意ガ成立スレバ、別ニ差支ヲ生ジナイノデアリマス、後カラ手續ヲシテモ差支ナイト思ヒマスガ、矢張サウ云フ場合ハ禁ズルト云フ意味デハナイノデアリマス

○林政府委員 禁ズル意味ト云フト大分廣ガ立ツヤウデアリマス、此案デハサウ云フ場合ニモ書面ヲ出シテ貰ハウト云フ精神ニナツテ居リマス

○横山(勝)委員 第四十三條

○横山(勝)委員 此官選辯護士ノ點ニ付テハ、實ハ從來非常ナル弊害ノアツタコトハ、司法當局モ御認メニナツテ居ル、御承知デアアルカナイカ知リマセヌガ、實際ノ例ヲ申上ダマスト云フト、裁判所ガ官選辯護士ヲ決定スル場合ハ、事頗ル重大ナル場合デアアル、兎ニ角重罪犯ニ付テ、辯護士ヲ委託スルノ資力ナキ場合ニ於テ、裁判所ガ地方裁判所屬ノ辯護士中ヨリ之ヲ任命スルト云フコトニナツテ居リマス、此辯護ノ官命ヲ受ケタ辯護士ハ、之ハ職務上法律上ノ義務トシテ誠實ニ其義務ヲ履行シテ、被告人ノ權利及利益ヲ擁護スル上ニ於テ、遺憾ノ無イ誠實ト努力トヲ致サナケレバナラヌト云

フコトハ、當然ノコトデアラウト存ジテ居リマス、然ルニ實際ノ例ハ、裁判官モ此官選辯護ノ規定ヲ嚴格ニ適用致シテ居ラヌト云フ事實ガアル、例ヘテ見レバ、吾々ガ裁判ニ他ノ事件ヲ以テ出頭致シテ居ル際ニ、官選デ命ジテ置イタ辯護士ガ出頭シナイ事件ガアル場合ニ、簡單ナ事件デ、被告人ハ全部自白ヲシタノダカラ、一寸顔ヲ出シテ呉レヌカ、一時間カ二時間デ済ムカラ、本日ダケ辯護士ト云フ形式ヲ取ツテ呉レヌカト云フ委託ヲ受ケルコトハ、屢々アルノデアアル、ソレハ事情洵ニ已ムヲ得ナイ、官選辯護士ガ出頭シナイ場合ニ、事件モ大シタ争ガ無イト云フ場合ニ、臨時ニ出頭シテ居ル辯護士ヲ頼ンデ、形式ヲ備ヘテ事件ヲ進行スルト云フコトハ、事務ノ進捗ヲ圖ル上ニ於テ、強チ惡イ事ト非難スル譯デヤアリマセヌガ、斯ノ如キ内情ガ、若シ被告及關係者ニ暴露致シマシタラバ、裁判所モ辯護士モ、其職務ニ對シテ甚ダ不忠實ナルモノト謂ハナケレバナラヌガ、ハ現ニ行ハレテ居ル例デアアル、又辯護士ノ側カラ云フ、私ハ多ク官選辯護ヲ受ケタコトモアリマセヌガ、受ケタ場合ニハ、非常ニ費用ヲ要スルデス、重大ナ事件ハ五百枚、千枚ト云フ記録ヲ謄寫シテ、其記録ヲ讀ンデ裁判所ニ出頭ヲシテ、遺憾ナク此辯護ノ勞ヲ取ルト云フコトニナレバ、兎ニ角報酬ヲ請求スルマデハ至リマセヌガ、實費ト云フモノガ無クテハ、非常ニ困ル場合ガアル、ソコデ御承知ノ如ク命ズル方モ命ゼラル、方モ、御儀式ノ任務ヲ盡シテ、シテ事件ノ解決アリマスガ、此點ニ付テ此刑事訴訟法ノ運用上、ドウ云フ工合ニ其點ヲ御解決ニナル積リデアリマスカ、或ハ施行法等ニ於テ其問題ヲ解決セララル、カ、如何デゴザイマスガ、ソレヲ一寸承ツテ置キタイ

○林政府委員 官選辯護人ニ付テハ、今横山君ノ御セニナツタヤウナ事ガナイトハ言ヘナイヤウデアリマス、其點ハ當局モ甚ダ遺憾ニ感じテ居リマス、是ハ色々ノ事情カラサウ云フコトニナルノデアアルト思ヒマスガ、併シ辯護人ガ官カラ命ゼラレテ、相當ノ時間ヲ費シ、費用ヲ費シ、努力ヲ捧ゲルノデアリマス、之ニ對シテ國家ガ相當ノ事ヲスルト云コトハ、私個人トシテハ相當デハナカラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、此點ニ付テハ、當局ニ於テモ前カラ段々攻究ハ途ゲテ居ルノデアリマス、此案ノ實施ト同時ニ、之ヲ如何ニスルカト云フコトヲ、責任ヲ以テ今御答スル程度ニナツテ居リマセヌ、併ナガラ隨分考慮ヲシテ居ルト云フコトダケハ、言明ヲ憚ラヌ次第デアリマス

○横山(勝)委員 此ハ假ニ官選辯護ノ命ヲ受ケタリトシテ別ニ費用ヲ要求スルト云フ意思ハ持チマセヌガ、御承知ノ通り辯護士ト雖モ、生活難ト云フコトノ大勢ヨリ超越シテ、

食ハズ飯マズデ仕事ヲスルト云フコトハ出来ナイ、ソコデ、
現下ノ狀勢ハ、辯護士ノ登録ヲシテマダ餘日ノ無イノミ
ニ、官選辯護士命ジテ居ルヤウデアリマス、此事ハ無論大シ
テ惡イ方針トモ考ヘラレマセヌガ、併ナガラ、辯護士ノ資格
ヲ得テ登録ラシテ、一箇月カ二箇月位ニシカナラス、若クハ
一年カ二年ニシカナラスト云フヤウナハ、知識ノ點ニ於
ハ彼是論議スル必要ナシトシテモ、經驗ノ點ニ於テハ、斯ク
申シテハ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、他ノ先輩ノ辯護士
ニ比較シテ、一段ノ遜色アリマス云フコトハ、爭フコトノ出
來ヌ事實デ、是方爲ニ司法官ノ如キハ一年半ト云フ實習ノ
期間ガアル、サウシテ先進ノ檢察裁判官ガ之ヲ法律上實務
上ノ指導ラシテカラ、裁判官ニ任用スルノデアル、裁判官ト
辯護士トハ、多少左異ガアリマスケレドモ、同ジク司法機關
ノ一トシテ、刑事訴訟ノ運用ノ衝ニ當ルト云フ點カラ見レ
バ、殆ド同様デアアル、殊ニ人權擁護ノ點カラ見レバ、裁判官、
檢察官ヨリモ一層ノ努力ト誠意ヲ要スル、非常ニ貴重ナル任
ノアルモノデアルト云フコトモ、爭フコトナク、兎ニ角重
大ナル犯罪ニ付テハ、或ハ無期刑ノ者モアリ、死刑ノ宣告ヲ
受ケル者モアル、斯様ナ重大ナル事件ニ關シテ、唯刑事訴訟
法ノ要求スル辯護士サヘアレバ宜シト云フコトデ、登録
シテマダ餘日ノ無イ、經驗ニ乏シキ辯護士諸君ヲ以テ、此重
大ナル任務ヲ負擔セシメルト云フコトハ、全ク法律ノ精神
ニ適シナイコト、考ヘル、併ナガラ、現下ノ狀勢ハ、只今中
シタヤウナ次第デ登録スル間モナク辯護士ノ義務ヲ命令ス
ル、斯様ニナツテ居リマス時ニ、或ハ先輩ノ辯護士ニ對シテ
命令シテモ、差支ヘル場合ニハ、其方面ノ辯護士ニ命令ヲ變
更スルコトガ實際ノ慣例ニナツテ居リマス、結局四十三條ニ
於テ、人權ヲ擁護スル意味ヲ徹底スル爲ニ、官選辯護士ノ制ヲ
設ケラレテモ、只今ノヤウナ運用ノ方法デハ、結局四十三條
ノ規定ハ餘リ効力ノ無イコトニ歸着スルノデアリマス其理
窟ハ、同ジク司法官試験補ノ中ヨリ選任スルコト云フ制度ガア
ッテ、是モ同ジ理由ノ非難ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、是
ハ東京地方裁判所ノ如キ、大阪ノ如キ、多數辯護士ノ在任シ
テ居ル裁判所ニ於テハ、全ク司法官試験補ヲ任命スルヤウナ
必要ハアリマスマイガ、地方ノ辯護士ノ少イ所ニハ、此規定
ガ必要デアルカモ知レヌガ、其非難攻撃ハ、後進ノ辯護士ニ
官選辯護士命ズル司法省ノ方針並ニ裁判所ノ方針、之ヲ
何トカ御決定ニナル必要ハナイカト思フ、私ハ必ズシモ後
進辯護士ノ官選辯護士廢スト云フノデアリマセヌ、登録
日尙淺シト雖モ、從來司法官トシテ經驗ノアル御方モアリ
マス、又一時登録ヲ消シテ置テ、新タニ登録サレル方モアリ
マスカラ、必シモ登録ノ新ラシイト云フコトヲ以テ非難攻

撃スルノデアリマセヌガ、現時ノ刑事裁判所ニ於ケル官選
辯護士方法ハ、法律共宜シキヲ得ヌ、本案ノ運用上ニ關シテ
モ、又人權保護ノ意味ニ於テモ、此救済ハ必要デアルト思ヒ
マス、實際問題トシテ、司法當局ノ考慮セラレタル詳細ナル
御辯明ヲ承リタイ

全ウスルコトガ出来ルカトウカ、寧ロ出来ヌト言ハナケレ
バナラス、左方ニハ上官方威儀嚴然トシテ法廷ヲ睥睨シテ
居ル、正面ヲ見レバ自分ガ平等指導ヲ受ケテ居ル裁判官ガ
嚴然タル態度デ訊問ラシテ居ル、突然下ニ降リテ、何等方針
ナク此刑事事件ノ辯護ノ衝ニ當リ、長ク論ズレバ上官ノ意
ニ反スル虞アリ、猛烈ニ被告ヲ擁護スレバ裁判官ノ感情ヲ
害スル虞ガアル、斯ノ如キ心中ノ煩悶ヲ生ズルハ人情ノ常
デアアル、斯ノ如キ辯護人ヲシテ、最モ嚴格ナル態度ヲ取ラシ
ムルト云フコトハ、事實ニ於テ出来ヌコトト思ヒマス、而シ
テ被告ノ人格ヲ擁護スルコト云フコトハ、理窟ニ合ハヌ話
デ、寧ロ弊害ガアリハセヌカト思ヒマス、司法官試験補ハ、裁
判所内部ニ於テ、此事件ハ斯ウ云フ事件デアアル、檢察ハドウ
云フ感想ヲ持テ居ルト云フヤウニ、裁判所内部ノ事ヲスカ
リ知ツテ居ル者ガ下ニ降リテ辯護人ニナル、辯護人トナツテ
職責ヲ盡ス能ハザルノミナラス、却テ弊害ガ生ジテ來ル、サ
ウスルト、サウ云フ辯護人ニ依ツテ辯護ヲ受ケテ引下ガル被
告人ハ、八百長ノ裁判、八百長ノ辯護ヲ厭ハシナガラ
承認シテ監獄ニ投ゼラレト云フ結果ヲ生ズル、サウスル
ト官選辯護人ノ制度ヲ設ケル精神ヲ失ヒ、裁判ノ威信ハ全
ク失墜スルデアルカラ、司法官試験補中ヨリ裁判長之ヲ命ズ
ルト云フコトハ一方デハ甚ダ其當ヲ得タル立法デアアルカ
如クニシテ、能ク其事情ヲ考ヘマスト、今中シタヤウナ弊害
ガアリハセヌカト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ更ニ御
答ヲ要求致シマス

○林政府委員 官選辯護ノ選任方法ニ付テノ御意見デアリ
マスガ、今日裁判所ノ實際ニ於テ、官選辯護ノ選任ハ、名簿
ノ順序ニ依テヤツテ居リマス、新ラシイ、辯護人ノミヲ選任
スルト云フ事實デハアリマセヌ、是ハ責任ヲ以テ申上ゲテ
宜シイ、帳簿ノ順序デヤツテ居リマス、唯大家デ非常ニ忙ガ
シイト云フヤウナ人ガ選任サレタ場合ニハ、其所ニ居ル出
張辯護士ヲ代理トスルト云フヤウナコトハアリマスガ、裁
判所ノ方デ新ラシイ人ノミヲ選任シテ、老練ナ人ヲ選任シ
ナイト云フコトハアリマセヌ、將來トモ新ラシイ人ノミヲ選
シテ、老練ナ人ヲ選バヌト云フコトハ無論アルマイト思ヒ
マス、尙モ辯護士タル資格ヲ得テ居ル以上ハ、兎ニ角法律ノ
上カラ見レバ、同ジヤウニ見テ居ルノデアリマス云フノハ
ドウカト思ヒマス、サウ云フ人ガ被告人ガ任意ニ選任シタ
場合ハ、ソレデ十分デアリマスカラ、官選ノ場合モ同様デナ
ケレバナラスト思ヒマス、根本ノ問題トシテハ、單ニ辯護士
タル資格ヲ得タト云フノデ、如何ナル階級ノ裁判所ニ於テ
モ、又如何ナル事件ニ付テモ、辯護人トシテ宜イカト云フコ
トハ問題ト思ヒマス、併シ單ニ官選辯護ダケノ問題トスレ
バ尙モ辯護士タル資格ガアレバ、老練ナ人ニ限ルト云フノ
モ少シ窮屈過ギルト思ヒマス

○横山(勝)委員 大體諒承シマシタガ、司法官試験補ノ中ヨ
リ之ヲ選任スルト云フコトハ、是ハ本案ノ獨創ト思ヒマス、
是モ事實必要上生ジタモノト思ヒマスガ、併ナガラ辯護人
ガ法廷ニ立ツテ、檢察裁判官ト對等ノ地位ニ立チテ、サウシ
テ被告ノ權利ヲ擁護スルト云フ場合ニ於テ、是ハ他ノ機會ニ
於テ言明シタコトモアリ、又來ルベキ機會ニ於テ意見ヲ述
ベルコトモアラウト思ヒマスガ、兎ニ角辯護士ノ地位ト云
フモノヲ保障シ、辯論ノ自由ナル地位ヲ確保スルニ非ンバ
其任務ヲ全ウスルコトノ出来ヌハ、申スマデモナイコト
ト思ヒマス、ソレガ普通ノ辯護士デアレバ、裁判所ノ職員デ
ハアリマセヌカラ、其邊ヲ考慮スル必要ハアリマセヌガ、司
法官試験補ハ、兎ニ角上官ノ命令ニ從フ官吏デアアル、監督シ
テ居ル檢察ノ命令ニ從ハナケレバナラス、裁判官ノ命令ハ聞
ク必要ハナイヤウデスガ、併シ是モ同一ノ裁判所ニ奉職シ
テ、毎日其裁判官ノ指導ヲ受ケテ居ル、サウ云フ密接ノ關係
アル人デアアル、其人ガ特殊ノ事件ニ付テ特定ノ場合ニ裁判
所ノ命令ニ依テ辯護士席ニ着イテ、果シテ人權擁護ノ職ヲ

○林政府委員 司法官試験補ヲ官選辯護人ニスルコトガ出来
ルト云フ制度ハ、現行法デハ認メナイ、所デ本案ニ於テ創設
シタ制度デアリマスガ、實際ノ方面カラ考ヘ、又筋道カラ考
ヘテモ適當デアアル、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居ルノデス、詰リ司
法官試験補ト云フノハ、辯護士タル資格ヲ持ツテ居ルノデア
リマス、辯護士タル資格アル者ガ官選セラレルト云フコト
ガ宜イナラバ、同ジ資格ヲ持ツテ居ル司法官試験補デモ宜シ
イ、之ハ筋道ハサウデアラウト思フ、又實際カラ言ヘバ、横
山君ノ言ハレマシタ通り、辯護士タル者モ色々ノ差支ガア
リ、又人ノ少ナイト云フコトモアル、官選辯護ノ任ニ當ル者
ガ、裁判所ガ手續ヲ行フト云フ場合ニ、中々出ラレナイト云
フコトモアリマス、其方爲メニ手續ノ進行ガ非常ニ遅レル、
是ハ實際ノ例ガ澤山アリマス、隨分是ハ被告人ノ爲メニ迷
惑ナ事デアアル、サウ云フ場合ニハ、矢張司法官試験補、即チ辯
護士ト同ジ資格ノアル者ガ、傍ラニ立ッテ利益ヲ擁護スル、
サウシテ手續ヲ進行スルト云フコトハ、非常ニ都合カ好カ
ラウト思ヒマス、主ニサウ云フ所カラ此規定ハ出来タノデ
アリマスガ、今仰セニナツタヤウナ弊ノ點ハ、ドウデアアラウ
カ、是ハドウモ其程御心配ノコトハアルマイカト考ヘテ居

リマス、司法官候補ハ檢事ノ命令ニ服スルト云フ御話モアリマシタガ、ソレハ檢事代理ヲシテ居ル者ハサウデアリマスケレドモ、一般ノ者ハサウ云フ關係ハナイ、兎ニ角辯護人タル地位ヲ與ヘラレテ、被告人ヲ擁護スル地位ニ立ツタ以上ハ、無論其方面カラシテ努力スルト云フコトハ、當然デアリ、要スルニ辯護士デアルト云フデモ、私共ノ考デハ重要ナル司法機關ノ一ツデ、裁判所長又ハ檢事ト離レノモノデハナイ、其ノ一ツノ重要ナル機關ノ行フ職務ヲ司法官候補ガ行フト云フノデ、判事ト云ヒ、檢事ト云ヒ、辯護人ト云ヒ、結局同ジヤウナ目的デ働キラスルノデアリマスカラ、司法官候補ニ辯護人ノ職務ヲ執ラセルト云フコトガ、土臺カラ惡イト云フコトニハナルマイト思フノデアリマス、サウ云次第デ四十三條ハ是非此儘ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○横山(勝)委員 サウシマス、今ノ御答辯ノ趣旨カラ申シマス、司法官候補ノ檢事代理ヲ命ゼラレテ居ル場合ハ、含マスト云フ意味デアリマスカ

○林政府委員 法文ノ解釋トシテハ含マストハ言イマスカ、檢事代理ヲシテ居テモ、司法官候補タル資格ガ消エテ去リ、併ナガラ實際カラ申セバ、檢事代理ヲシテ居ル司法官候補ハ、辯護人ニ選任スルコトハアルマイト思フ、其處ハ運用ニ於テ宜シキヤルベキモノト考ヘマス

○横山(勝)委員 サウシマス、豫備判事、豫備檢事、斯ウ云フ人々ハ既ニ司法官候補ノ資格ヲ終テ、豫備判事トナリ、豫備檢事トナリ居ルデアリマス、司法官候補ヲ辯護人ニスル必要ガアリ、又其利益ガアルナラバ、現ニ職務ヲ持ッテ居ラナイ、左様ナ人々ニモ辯護人ナサシムル制度ヲ作ッテガ便利デアリマスカ、ドウ云フ工合カラ其邊ヲ御極メニナッテ居ルノデアアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○林政府委員 ソレモ一ツノ御考デアラウト考ヘマスガ、豫備判事、豫備檢事ハ、只ブラ一遊シデ居ル譯デハナイノデス、ソレハ矢張相當ナル職務ノ分配ヲ受ケテ、裁判事務、檢察事務ヲ行ッテ居ルノデアリマス、是ガ辯護人ヲヤルコトハ、實際上適當デアリマセ、又必要ガナカラウト考ヘマス

○横山(勝)委員 サウシマス、司法官候補ヲ辯護人ニ選任スルト云フコトハ、先刻詳シク申上ゲタ如ク、私ハ斯ノ如キ制度ハ決シテ人民ヲシテ裁判ノ公正大ナルコトヲ信賴セシムル所以ノ途デハナイト思ヒマスガ、其私ノ意見ノ結果ハ、又他ノ機會ニ於テ述ブルコト、致シマスガ、此四十三條ノ運用ニ關シテ、希望ヲ一ツ述ベテ置キタイ、官選辯護ヲ命ゼラタ際ニ應大ナル幾千枚ノ記録ガアル場合、此事項ニ關スル政府當局ノ意思ハ、先刻ノ御答辯デ能ク諒解シテ居リマスガ、先ヅ私ノ希望トシテハ、決シテ報酬ヲ貰ヒタノイノ、優遇ヲシテ貰ヒタイノト云フ希望ハアリマセ、併ナガ

ラ裁判所ガ其記録ノ謄本ヲ辯護士ニ交付スルトカ、又辯護士ガ自分ノ自費ヲ以テ之ヲ謄寫シタ場合ニ於テハ、其實費ヲ供給スルトカ何トカ、辯護士ガ官選辯護ヲ盡ス上ニ於テ、考慮シナケレバナラヌ點デアラウト考ヘマス、併ナガラ三十枚カ五十枚デアッテ、僅ナモノニ付テ、悉ク辯護人カラ實費ヲ要求スル人ハアリマスカ、又本人ノ希望スル所デモゴザイマスカ、兎ニ角吾々從來ノ經驗ニ依レバ、強盜盜數犯、外ニ殺人ノ罪ヲ犯シテ記録ガ數千枚アルト云フヤウナモノヲ、辯護士ニ對シテ一片ノ辭令ヲ以テ辯護ヲ命ズルト云フコトヲ決定セラレテ、サウシテ之ニ對スル實費ヲ絕對ニ支拂フ途ガナイト云フコトハ、今日ノ時勢ニ辯護士ガ殖エテ、生活難ニ陥ッテ居ル人ノ地位ヲ安固ナラシメル所以デナイト考ヘマス、多クノ場合ニ於テ必要アリマスカトガ、特殊ノ場合ニ於テハ相當ナ途ヲ講ズル必要ガアルト云フコトハ、吾々日ニ經驗シテ居ル例デアリマス、之ヲ御考慮ノ中ニ入レテ置カレマシテ、本案ノ運用ニ關シテ、本案通過ノ際ニ、何トカ方法ヲ講セラレテ希望致シマス

○宮古委員 横山君ヨリ質問セラレマシタル司法官候補ヲ辯護士ニ選定シ宜シイカ否ヤト云フ問題デアリマス、是ハ私モ矢張横山君ト同ジ考ヲ有ッテ居ルノデアッテ、ドウモ屢々色々ナ弊害ガ起リハセヌカ、又其弊害ノ方ガ利益ヨリモ餘程多クハナイカト思ヒマス、詰リ司法官候補ハ矢張裁判ノ一員デアッテ、其人ガ降ッテ辯護人ノ席ニ着イテ、種々議論ヲスル、其議論ヲスルニ付テハ、或ハ檢事ノ意ニ逆ラフコトモアリマセウ、又裁判官ノ意ニ滿タスコトモ言ハナケレバナラヌ場合モアリマセウシ、色々ナ事情ガゴザイマセウノニ、辯護人ヲ罷メテ、直グニ裁判所ノ一員トナッテ、何カノ仕事ヲスルト云フヤウナコトニナル者ガアリマスカラ、ドウモ思切ッタコトヲ言フト云フコトハ、餘程困難デアラウト思フ、思切ッタコトヲ言フテ辯護ガ出來ナイト云フコトデアリマシタナラバ、是ハ被告人ノ爲ニナラヌト謂ハンケレバナラヌ、辯護人トナッテ辯護スル以上ハ、左顧右盼スルヤウナ事ハ一切ナク、如何ニ檢事ノ意ニ逆ハウガ、裁判所ノ意ニ滿タナイ事ガアラウガ、忌憚ナク議論ヲシナケレバ、到底辯護人タル職責ヲ完ウスルコトガ出來ナイト思フ、ソレヲ司法官候補タル人ニヤレト云フ事ハ、餘程無理デハナイカト思フ、理窟カラ言フタナラバ、辯護人トナッテアルカラ、何事モ出來ナケレバナラヌノデアアラウガ、世ノ中ノ事ハ色々情實モアリマスカ、理窟通りニハ往カヌ、故ニ是ハ利益モアラウガ、弊害モ多イカラ、宜クナイト思フノデアリマス、而シテ此度ノ法案デハ、辯護人ヲ選定スル場合ガ、現行法ヨリハ餘程多イ、即チ新法ニ三百三十七條ト云フモノガ設ケラレテアッテ、餘程廣キ意味ニ於テ辯護人ノ選任ガ出來

ル、即チ官選辯護士ト云フコトガアルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ、司法官候補ヲ裁判所ガ辯護人ニシテ、忽チ仕事ヲ終了シテシマウト云フヤウナ事ガアッテハ、ドウモ人権擁護ノ上ニ於テ甚ダ遺憾ガアルデアラウト思フノデスガ、之ヲ私ハ除キタイト思ヒマスガ、ソレヲ除クニ付テドウ云フ不都合ガアリマセウカ、今マデノ通りニヤッテドンナ差支ガアルノデアリマセウカ、大シタ差支ガナイナラバ、除ク方ガ宜カラウト思ヒマスガ、此點ニ付テ差支ノ有無ヲ承ッテ置キタイ思ヒマス

○林政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ、先程申シマシタ通り、是マデノ實際ノ經驗カラ見シテ、官選辯護ノ場合ニ、辯護人ノ差支ノ爲ニ公判期日ヲ延期スルト云フ例ガ随分アリマス、即チ訴訟手續ノ進行ガ遅レル事ガアリマシテ、被告人ガ非常ニ不利益ヲ被ル、是ハ澤山ノ事例ガアリマス、是ハ辯護士ノ側カラ見ルト無理ハナイト思ヒマス、隨分急ガシイ身デ居ラレルノデスカラ、サウ云フ事ハ決シテ辯護人ノ怠慢デアルトハ思ハヌガ、サウ云フ事ナカラシムル爲ニ即チソレガ爲ニ訴訟手續ガ遅延シテ、被告人ガ不利益ヲ蒙ル、斯ウ云フ弊ヲ除ク爲ニ、司法官候補ヲ入レルト云フコトハ、實際上必要ト思ヒマス、ソレカラ弊ノ方面デアリマスカ、私ノ考ハ餘程違ヒマス、司法官候補トシテ判事ナリ檢事ナリガ候補ノ事務ニ付テ指導ヲ與ヘルト云フコトハ無論アリマスカ、指導ヲ與ヘラレタ者ガ辯護人タル地位ニ立ッテ、辯護人トシテ十分ノ努力ヲスレバ、是ハ感服コソスレ、ソレデ感情ヲ害スルト云フコトハアルベカラザル事デアラウト思フ、アタタ方ハ書生ナドヲ澤山御養ヒデスカラ、御經驗ガ随分オアリト思ヒマスガ、自分ノ養ッテ者ガ、思切ッタ立派ナ事ヲヤレバ、縱令自分ニ反對ノ事デモ愉快デアル、ソレガ爲ニ感情ヲ害スルト云フコトハナカラウト思ヒマス、殊ニ職務上ノ事デアリマスカラ、職務上思切ッタ事ヲ言ッタノヲ、不都合ダト云フ事ハナイト思ヒマス、議員諸君ナドニ於テモ、會議ニ於テ隨分思切ッタコトヲ仰シタル事ガ多イト思フ、政府委員ナドモ失禮ナ事ヲ申スコトガアルト思ヒマスガ、ソレガ爲ニ感情ヲ害スルト云フコトハナカラウト思フ、辯護人トシテ大ニ論ズル、或ハ適當ナル證據申請スルト云フ場合ニ、檢事ニ反對スル仕事デアラカラ不都合ダト云フヤウナ事ノ生ズルコトハ、私ハナイト思フ、其點ハ御心配ハアルマイト考ヘマス

○横山(金)委員 私ハ今ノ四十三條ノ二項ノ利害相反セサルトキハ同一ノ辯護人ヲシテ數人ノ辯護ヲ爲サシムルコトヲ得「此反對ニ、一ツノ事件ニ付テ被告人一人ニ付テ辯護人ノ數ヲ限定スルト云フ司法省ノ大正五年ノ刑事訴訟法案四十四條デゴザイマスガ、一人ニ付三人ヲ越エルコトヲ得ズ、

此意見ハ各地ノ辯護士會カラモ上申シタモノアルヤウデ
ゴザイマスガ、是ハ法廷ノ整理、事件ノ進捗ヲ圖ルト云フ上
ニ於テ、必要ハ御認メニナラスノデゴザイマセウカ、辯護權
尊重ノ意味ニ於テ、斯ノ如キ規定ハ置カナイ方ガ宜イト云
フ趣旨ヨリ、本案ニハ御載セニナラナカッタ思フノデ
アリマスガ、サウ致シマスルト、條文ハ先ニナッテ居リマ
スケレドモ、三百五十一條ニハ「辯護人數人アル場合ニ於テ被
告人ノ爲ニスル意見ノ陳述ハ重複シテ之ヲ爲スコトヲ得
ス」トアリマス、是ハ法廷ニ於テ裁判官ガ法廷整理、事件ノ
進捗ヲ圖ル上ニ於テ、御差止メニナリマスガ、隨分辯護人ノ
辯論ノ氣勢ヲ殺グコト甚ダシキモノガアルノデアリマス、
例ヘテ見マスレバ、唯單ニ重複シマストカ、簡單ニ、若クハ
餘リ長イヤウナラバ休憩ヲシテ後ニヤリマセウト云フ言葉
ダケデモ、隨分辯論ノ衝ニ當ッテ居リマス辯護人ノ辯論
ノ勢ヲ殺グコトニ、非常ナ力ヲ有ッテ居ルノデアリマス、能
ク講談師ナドガ申シマスガ、藝人ヲ殺スニハ刃物ハ要ラス、
欠伸三ツデ野垂死、此意味ガ極メテ痛切ニ露骨ニ深刻ニ發
揮サレルノデス、重複シタルト云フコト、五ニ意見ガ違フノデ
アリマス、右カラ山ニ登ル人モアリ、左カラ山ニ登ル人モ
アル、麓ヲ分ケ登ッテ、落付ク處ハ矢張同ジ高嶺ノ月ヲ眺メ
ルコトニナルノデアリマスカラ、大分議論ノ種ガ出テ來ル
ト思フ、私ハ重複スルト云フヨリモ、寧ろ法廷ニ於テ無用デ
アル辯論ヲ爲ス者ガ、中ニハ譯山アリハシナイカ、例ヘテ見
マスレバ、事件ニ關係ノナイ心理學ヲ説イタリ、哲學ヲ説イ
タリ、所謂高遠ナル理想ヲ發揮セラレル人ガアルノデアリ
マス、斯ウ云フ場合ニ禁止規定ガナク、單ニ重複スル場合ト
云フ事ニナリマス、トドウモ其間ニ權衡ガ取レスヤウニ思フ
ノデアリマスガ、數人辯護人ト云フコトニ數ヲ限定スルコ
トヲ御制リニナツタ以上ハ進ンデ三百五十一條ノ重複規定
ヲ御制リニナツタ方ガ、辯護權ヲ徹底的ニ御尊重ナル意味
ニ於テ宜シイデハナイカト思ヒマス、此點ニ付テ御尋ラ
致シマス

○林政府委員 辯護人ノ數ヲ制限スベキカドウカト云フコ
トハ、餘程問題デアリマシタデ、前ノ案ニハ數ノ制限ガアリ
マシタノデスガ、本案ニハ之ヲ削リコトニナリマシタ、ソコ
デ本案ニ依リマス、辯護人ノ數ハ何十人デモ構ハス、斯ウ
云フ結果ニナリマス、辯護人ガ多數アル場合ニ、全然同ジ辯
論ヲ繰返シ、被告人ノ爲ニ何等ノ益アルニアラズ、裁判所又
ハ檢察ノ方面ニモ、何等ノ參考トナルノデハナイ、既ニ言盡
サレテアル、斯ウ云フヤウナ辯論ヲスルト云フコトモ往々
ニシテ生ジテ來ルノデ、是ハドウモ辯護人ノ辯護ノ方法ト
シテハ、甚ダ當ヲ得ナイモノト考ヘル、要スルニ被告人ノ爲
ニ權利利益ヲ擁護スノデアリマスカラ、同ジ事ヲ重ネテ言
フ必要ハナイ、一遍言ヘバ、判事ノ頭ナリ、檢察ノ頭ニチヤ
ント判ル、併シ實際ニ於テ澤山アツタ例デハアリマスマイケ
レドモ、多勢辯護人ガアル場合ニハ、其多勢ノ人ガ公判ニ始
終列席サレテ居ラス、辯論スル時ダケ法廷ニ出テ、アトハ他
ヘ行ッテ用ヲスルナリ或ハ遊ブナリシテ來ル、サウシテ自分
ノ順ノ時ニ來テ辯論スル、是ハ已ムヲ得スト思ヒマスガ、併
シ其辯論ガ前ノ人ノ言ウタノトマルキリ同ジデアアル、斯ウ
云フ事ガ實際アル、サウ云フ場合ニハ、サウ云フ趣意ハ前ニ
他ノ辯護人カラ言ッテアル、斯ウ云フ注意ヲ與レバ、ソレデ
ハ他ノ論點ヲ論ズル、斯ウ云フヤウナ風ニ致シタイト思フ、
是ハ英吉利アトリデハ、ソレ等ノ事ハ立派ニ行ハレテ居ル
ト云フコトデアリマスガ、其邊ハ矢張此法案ガ實施サレル
時ニハ、他ノ場合ト同ジヤウニ、美シイ法廷慣習ヲ作ッテ、立
派ニヤッテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○横山(金)委員 今刑事局長ノ御答ノ如ク、ソレハ時ニ依
リマスレバ、サボッテ居リマス者ガ出テ來テ、前ノ辯護人ノ
辯論ノ趣意ヲ知ラズシテ、重複シタ事ヲ偶々、言フコトモア
ルデアリマセウガ、サウ云フ時ハ矢張自ラ、法廷道德ト云
フモノガアルノデアリマスカラ、傍ノ人カラ注意スレバ、自
分ノ良心ニ省ミテモ、自ラ止メルデゴザイマセウカラ、若シ
此規定ヲ御置キニナルト云フコトニナレバ、却テ紛擾ノ種
ヲ播イテ、裁判官ト辯護人トノ感情ノ衝突ヲ起シ、昨日頻ニ
問答ノ繰返サレマシタ忌避ノ種ヲ多クスルト云フ嫌ガア
リマス、要スルニ辯護權ヲヨリ以上尊重スルト云フ意味ニ
於テ辯護人ノ數ノ制限ヲ御採リヨナラナカッタ同一ノ趣
旨ニ於テ重複規定ト云フモノハ、御省キニナル方ガ至當デ
ハナイカト思ヒマス、尙一度伺ッテ置キマス

○林政府委員 被告人ノ防禦權ヲ完全ナラシムル方面カラ
言ヒマシテ、重複シテ辯論スルト云フ事ヲ認メナケレバナ
ラスト云フコトハナカラウト思ヒマス、只今御話ニナリマ
シタヤウニ、辯護人ニ重複シテ辯論スル積リデハナイ、裁判
長ノ方ハ重複デアルト云フヤウナ事デ爭ガ起ルト云フヤウ
ナ事ハ、心配スレバ心配ノ無イ事デアリマセウガ、ソコハ
矢張運用ノ局ニ當ル者ガ、十分此法律ノ精神ヲ理解シテ、辯
護人ノ方デハ重複ニ宜ルコトハ成ベク避ケル、裁判長ノ方
デハ十分ノ注意ヲ以テ之ヲ行フ、斯ウ云フコトニシマシタ
ナラバ、ソレハドウモ何千何万ノ中ニハ、多少ノ事ガ起ラス
トハ限リマセウケレドモ、ソレガ爲ニ重複辯論ハ全然宜シ
イト云フコトニスルノハ一層イキマイト考ヘマス、此規定
ヲ置クガ爲ニ、被告人側ノ防禦、辯護人側ノ權利、此方ニ少
シモ妨ガアルト云フコトハ言ヘマイト思フ、矢張辯護人ノ
數ヲ制限シナイ以上ハ、斯ウ云フ規定ガ必要デアルト云フ
コトニナルノデハアルヤイカト考ヘテ居リマス

○鈴木委員 一寸伺ヒマスガ、四十三條ノ第二項ハ、讀ンデ
見マスト矢張官選辯護ニ關スル規定ノヤウニ取ラレマス
ガ、サウデハアリマセウカ

○林政府委員 官選辯護ノ規定デアリマス

○鈴木委員 一般ノ規定ニハ、別段斯ウ云フ條項ヲ設ケル
必要ハナイト云フ御趣意デスカ

○林政府委員 其通りデス

○鶴澤委員長 第四十四條カラ第四十七條マデ一括シテ議
題ニ供シマス

○上島委員 第四十四條ノ裁判長又ハ豫審判事ノ許可ト云
フノハ、訴訟手續ニ關スル裁判所ノ許可デハナクシテ、行政
上ノ許可ノ意味デスカ

○林政府委員 ソレハ性質ハドウナリマスガ存ジマセウ
ガ、書類ノ方ハ、辯護人ハ前項ノ規定ニ依ッテ謄寫スル權利
ガアル、併シ證據物ノ方ハ、色々古イ物ガアツタリ、取扱ヲ丁
寧ニシマセウト消エテシマフト云フヤウナ物ガアリマスガ
ラ、取扱ヲ鄭重ニスル意味デ、裁判長ナリ豫審判事ノ許シヲ
受ケル、是ダケノ意味デアリマス

○上島委員 所ガ是モ後ニ至ッテ疑問ヲ生ズルカモ分リマ
セウカラ、其點ヲ明ニシテ置キタイト思フ、ソレダケノ趣意
デアリマスガ、若シ是ガ刑事訴訟法上ノ訴訟行為ニ對スル
裁判デアリスレバ、辯護人ノ申請ヲ却下セラレタ場合ニ
ハ、即時抗告デモ出來ネバナラス管デアアル、又此法文ニ於テ
モ、多分出來ルコトニナルグラウト思フ、是ガ單純ナル司法
行政上ノ許可ニ止ルトスレバ、訴訟上ノ手續ニ依ッテ、不當
ナル命令ヲ矯正スルコトガ出來ナイコトニナル、ソコハ政
府委員ノ御考ハドウ云フ御考デアリマスカ、不當ナル許可
ハ、刑事訴訟法ノ定メタ上訴其他ノ方法ニ依ッテ、矯正スル
コトガ出來ルヤウナ趣意デアリマスカ、或ハ單純ナル行政
上ノ處分デアッテ、此法律ニ依ッテ矯正ノ途方無イト云フコ
トニナリマスカ

○林政府委員 其點ハ實ハ輕ク見テ居リマスノデ、實際
上妨ガナイノニ許可ヲ與ヘナイト云フヤウナコトハ、マルデ
豫想シナイノデスカラ……

○上島委員 若シ許可ヲ與ヘナカッタ場合ハ、ドウシマス
カ

○林政府委員 若シ理由ナク許可ヲ與ヘスト云フヤウナ事
ガアレバ、是ハドウモ職務ヲ相當ニ行ハス者デアリマス
カラ、職務上ノ制裁ハ免レナイ、無論裁判長ナリ豫審判事ハ、
法律ノ精神ヲ能ク探ッテソレニ則ッテ職務ヲ執ラナケレバ
ナリマセウカラ、職務上懲戒其他ノ責任ヲ免レスコトニナリ
マス

○上島委員 サウスルト、若シ許可セラレナカッタ場合ニ
ハ、單ニ職務上ノ監督權ニ依頼スル外ハ、之ヲ矯正スルノ途

ガナイト云フ御考デスカ

○林政府委員 サウ云フコトニナッテ居リマス

○鈴木委員 四十四條ノ第三項ノ證據物ノ謄寫デアリマス、謄寫ト云フ文字ノ中ニハ、寫眞ヲ含ミマス、例ヘバ證據物ハ、場合ニ依テ筆記スルニハ非常ニ手間ガ取レテ、寫眞ニ寫シタガ早イヤウナコトモアル

○林政府委員 寫眞ニ撮ルコトモ一ツノ謄寫ノ方法デアルト考ヘマス

○鶴澤委員 他ニアリマセスカ——第五章裁判デアリマスガ、食事ニ致シマスカ、モウ一寸ヤリマスカ

〔食事ニ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○鶴澤委員長 二十三、二十四日ハ委員會ガ休ニナリマス、ソコデ二十三、二十四日ノ二日休ミマス、餘程進行ガ妨ゲラレル譯ニナリマス、明日ハ午後休ニナッテ居リマス、ソレデ成ベク一ツ御進行ヲ圖ルヤウナ趣旨ニ於テ御願致シタイと思フ、午後八時半カラ始メマス、休憩致シマス

午後六時二分休憩

午後二時十分開議

○鶴澤委員長 今度ハ第五章裁判、第四十八條、第四十九條、第五十條、第五十一條、第五十二條、第五十三條ノ議題ニ供シマス

○宮古委員 第四十九條ノ第二項ニ付テ一寸御尋ネ致シマス、一上訴ヲ許ササル決定又ハ命令ニハ理由ヲ附セサルコトヲ得ト云フコトニ書イテアリマスガ、上訴ヲ許ササル決定トカ命令トカト云フヤウナモノナラバ、尙更ラドウ云フ理由デ決定ニナッテカト云フコトヲ知ル必要ガアリマスト思ヒマスガ、隨分ハ一々理由ヲ附スルト云フコトハ、煩ニ堪ヘナイト云フ理由カラ出テ居ルノカモ知レマセスカ、レドモ、矢張理由ハ書ク方宜クハナイカト思フノデアリマスガ、ドウ云フ趣意デ斯様ナ規定ヲ設ケマシタノデアアルカ、御説明ヲ願ヒタイ

○秋山政府委員 御問ノ中ニ含ンデ居ル趣意ニ過ギナイト思ヒマス、要スルニ上訴ヲ許サス決定命令ト云フコトハ、極ク輕ク見テ居ル、裁判上最モ輕ク見テ居ルモノデアリマス、重要ナル裁判ニ、上訴ヲ許ササルト云フヤウナコトハ、殆ド無イノデアリマス、而シテ其場合ガ非常ニ多イノデアリマス、之ニ一々理由ヲ附スルト云フコトハ、煩ニモ堪ヘマセシ、此裁判ガ重要ナ點デアリト云フ點カラ見マシテ、是ガ爲ニ弊害ヲ生ズルト云フ處方無イト云フ見地カラ、斯様ニ致シタノデアリマス

○宮古委員 理由ヲ附セナクテモ宜イト云フコトニナルト、ドウモ自然此條文ヲ濫用スルヤウナ傾ガアリハシナイ

カ、理由ヲ附セナクテモ宜イノデアルカラ、ドウ云フ決定ヲシテ見タ所ガ、非難ノシヤウモナイ譯デアアルカラ、却下セヌノモ宜イモノデモ却下スルト云フヤウナコトガ出テ來ルヤウナ處ガアリハシナイカ、如何ニモ其點ガ氣遣ハレルト思ヒマスガ、ドウモ矢張無クテモイケマセヌガ、之ヲ削除スルコトハ大變ナ差支ガ起ルノデアリマス

○秋山政府委員 同ジ事ヲ繰返シテ申サユウニナリマスガ、理由ヲ附セルコトヲ得ト云フノハ、理由ヲ附スルヲ相當ト認メル場合ハ、矢張理由ヲ附スル、例ヘバ證人ノ喚問申請ニ對シテ、之ヲ却下スルト云フ決定ハ之ニ一々理由ヲ附スルト云フコトヲ要求シテ居ラナイ、現行法ノ下ニ於テモ、理由ヲ附シテ却下シテ居ル取扱振テ場合ニ依ッテ致シテ居ル、必ズ理由ヲ附サナケレバナラスト云フコトニナルト、手續デ極ク少サナ事柄ナゾハ、是ハ全ク煩ニ堪ヘナイコトト考ヘテ居リマス、現行法ノ解釋トシマシテモ、別ニ原案ト變テ居ラヌノデアリマス、此點ニハ左程實際上ニ弊害ヲ生ジテ居ラナカッタ點デアリマス、原案ノ如クデ宜カラウト思ヒマス

○鶴澤委員長 アリマセスカ、第六章書類、第五十四條、第五十五條、是ハ問題ハアリマセスカ、第五十六條、第五十七條、第五十八條、第五十九條ハアリマセスカ

〔ナシト呼フ者アリ〕

○鶴澤委員長 第六十條

○宮古委員 第六十條ニ付テ伺ヒマスガ、第五ニ「被告事件ノ陳述及公判開廷中口頭ノ起訴アリタルトキハ其要旨ヲ斯ウ云フコトハ、公判調書ノ中ニ書カネバナラスト云フ、是ハ本案六十四條ニモ「訴訟手續ハ公判調書ノミニ依リテ之ヲ證明スルコトヲ得ト云フコトニナッテ居マシテ、公判調書ニ書イテナイ事ハ證明ノシヤウモナイ、ソレ故必要ナ事柄ハ總テ公判調書ニ書イテ置カナケレバナラスト筋合ノモノデアルトコトハ、論ガアリマセスカ、第五ニ依ルト、被告事件ノ陳述ダケハ書クモ、争點ヲ明カニスルト云フコトハ認メテ居ラス、是ハ上告ノ場合ニ於テ、判決ノ理由ガ非常ニ必要ニナルノデスカ、其理由トシテハ三百六十二條ニ規定ガアッテ「法律上犯罪ノ成立ヲ阻却スヘキ理由又ハ刑ノ加重減免ノ理由タル事實上ノ主張アリタルトキハ是ニ對スル判斷ヲ示スヘシト云フコトガ書イテアリマスガ、法律上犯罪ノ成立ヲ阻却スベキ原山ト云フコトニ付テモ、争點ヲ明カニスルト云フコトガ必要デナイカト思ヒマス、加之吾々ノ常ニ考ヘテ居リマスル所デハ、今迄ノヤウナ判決ノ書方デハ、一面ドウ云フ事ガ争點ニナッテ居ルカ、一向ニ分ラナイ、隨分重要ナル控辯ヲ被告若クハ辯護人カラシマシテモ、其事柄ハ一向ニ公判調書ニ書イテナイ、書イテナイノデアリマス

ラシテ、隨テ上告ノ理由ニシヤウモナイヤウナ譯デアリマス、ドウモ此争點ハドウシテモ明カニシテ置カナケレバ行カナイモノデアラウト思ヒマスガ、ソレヲ明カニスルニ付テハ、只今ノ條文中ニ其事柄ヲ明カニスルヨリ途ガナイノデアリマス、此被告事件ノ陳述ト云フ所ニ、矢張争點ト云フコトモ加ヘタ方宜クハナカラウト思ヒマスガ、之ニ對シテ政府ノ御意見ハ如何デゴザイマス

○秋山政府委員 第五八原告官タル檢事ノ方ノ主張デアリマシテ、辯護人或ハ被告人等ノ辯論ハ、第六號ノ中ニ含マレトデアリマス、六號ニ於テ辯論ノ要旨ヲ掲ゲト云フコトニナッテ居リマス、殊ニ御説ノ通り二百六十二條ニハ、今迄ト違ヒマシテ、法律上犯罪ノ成立ヲ阻却スル理由、又ハ刑ノ加重減免ノ理由タル事實上ノ主張、是等ノ主張ニ付テ、判決ヲ致サナケレバナラスト云フコトニナッテ居リマス、從テ是等ノ主張ガアッタト云フコトハ、當然辯論ノ要旨トシテ掲ゲベキ事柄ニナルノデアリマス、是デ御注意ノ點ガ脱ケテ居ルノデハナイ積リデアリマス

○宮古委員 第五ノ方ハ、檢事側ノ方ダケヲ記載スルト云フナラバ、第六ノ辯論ノ要旨ト云フ所ニ、矢張争點ヲ加ヘルト云フコトガ至當カモ知レマセヌ、兎ニ角争點ノ明カニナテ居ルヤウニ致ス必要ハ、政府ニ於テモ御認メニナッテ居ルヤウデアリマスガ、サウスル辯論ノ要旨ト云フコトダケデハ、如何ニモ漠トシテ居ルヤウニ思フ、書記ガ記載ヲシマスル際ニ、唯辯論ノ要旨ト云フダケガアリマスルトナレバ、如何ニモ制限ノモノデアリマセスカラシテ、争點トナッテ居ルヤウナ肝要ナ所デモ、矢張之ヲ脱スルヤウナコトガアラウト思ヒマス、ソレ故ニ兎ニ角此争點ト云フモノハ明カニナルヤウニ、調書ノ上ニ書クコトガ最モ必要デアラウト思ヒマスガ、政府ノ御方ハ如何デセウカ

○秋山政府委員 此辯論ト云フコトガ、通俗ノ意味ニ解サレマスルト、ドウカト思ヒマスルガ、訴訟上ノ正確ナ意義ニ此辯論ト云フ言葉ガ用キラレマスル以上ハ、當然此辯論ノ中ニ三百六十二條ノ二項デ必要トシテ居ルコトハ、當然ニ辯論中ニ含ムト思フノデアリマス、其中ノ要旨ト云フコトハ、必シモ此三百六十二條ガ要求シテ居ルヤウナモノ、ミ止マルベキモノデアリナイト思フテ居リマスルガ、三百六十二條ノ二項ノ如キモノハ當然ニ含ム、尙是以上入ルコトハ勿論デアリマスガ、是ガ脱スルト云フヤウナコトハ、辯論ノ要旨ト云フ言葉ニ決シテ生ジテ來ナイト信ズルノデアリマス

○宮古委員 重ネテ伺ヒマスガ、政府ニ於テハ争點ヲ明カニ調査ノ上ニ記載スルコトハ、御異存ハナイノデスカ

○秋山政府委員 サウデアリマス

○鵜澤委員長 第六十條、アリマセヌカ——第六十一條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第六十二條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第六十三條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第六十四條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第六十五條、速記ノ問題デス——第六十六條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第六十七條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第六十八條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第六十九條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第七十條

〔ナシ〕ト呼フ者アリ

○鵜澤委員長 第七十一條——一寸第七十一條ニ付テ承ッ

テ置キタイノデアリマスガ、此契印ヲ——書類ノ每葉ニ契

印ト云フコトヲ脱シタ場合ハ、書類ハ無効ニナルノデスカ、

ナラナイノデスカ

○秋山政府委員 書類ハソレニ依ッテ無効ニナルモノト考

ヘマス、結局書類ノ連續ガナイト同一ニ考ヘマス

○宮古委員 今ノ點デスガ、現行刑事訴訟法ニハ、明ガニ無

効ニナルト云フコトガ、書イデアリマスカラ、能ク分リマス

ガ、此法文デハ唯「書類ニハ每葉契印スヘシ」ト云フダケデ、

果シテ訓示的ノ條文デアルカ何カガ、甚ダ不明ノヤウニ見

エマスガ、是デ契印ノ無イ書類ハ無効ナリト認ムルニ足リ

マスガ、訓示的ノモノデナイト云フコトヲ明カニスル爲ニ

別ナ文句ヲ附加ヘルト云フナウナ必要アリマセヌカ、政

府ノ御意見ハ如何デス

○鵜澤委員長 理由書ニハ何ダカハキリ無効デアルカナ

イカ一寸分ラナイヤウデアリマス、七十一條ハ……

○清瀬委員 是ハ四百十二條ヲ見マス、其第三十一號ニ

此案ハ、判決書ダケハ契印ヲ要件トシテ、契印ガ無ケレバ無

効デアデ、他ノ書類ハ、無クテモ宜イト云フ御趣意デ作ラ

レタヤウニ私共ハ今迄見テ居タノデアリマスガ、判決ニ契

印ガ無イ場合ニハ、上告ノ理由ニナル——二十一號——末

號デス

○秋山政府委員 判決書ノ場合ハ、明カニ上告ノ理由トシ

テ居ルノデアリマスガ、其他ノ場合ニハ、要スルニ契印ガ無

ケレバ、書類連續ガ認メラレナイト云フ解釋ノ結果トシテ、

書類ガ效力ガ無クナルコトニナルノデアリマス

○鵜澤委員長 サウスルト結局ハ事實問題ト云フコトデ

スナ

○秋山政府委員 結局サウナリマス、法律ニ無効トスルト

云フ明文ハナイガ……

○鵜澤委員長 第七十二條

○宮古委員 私ハ今ノ七十一條ニ付テ、一寸理由書ヲ見マ

スト、是ハ單ニ契印許リデハナイ、年月日ヲ記載シテ署名

捺印シ其ノ所屬ノ官署又ハ公署ヲ表示スヘシト云フ、コチ

ラノ方モ一緒ノヤウニ見ラレマスガ、此等ノモノヲ通ジテ

當然無効トハシナイ主義ノヤウニ見ユル、現行法ニ於テハ

書類ノ作成其方式ニ違背シタルトキ、之ニ無効ノ制裁ヲ付

シタレトモ、本案ハ此主義ヲ採用セス、之ヲ正當ノ文書ト見

ルヘキヤ否ヤハ、事實ノ問題トシテ解決スヘキモノト爲ス

スウナッテ居リマスカラ、當然無効ト云フコトニハシナイデ

今委員長ノ言フタ通りニ、事實問題トシテ之ヲ見ルト云フ

モノ、如クデアリマスガ、即チ現行法ヲ改正シテ意味ノヤ

ウニ見エマスガ、矢張其通りニ政府ハ御考ヘニナッテ居ルノ

デスカ

○秋山政府委員 一項ノ方ハ、此官吏方作成シタ書面ニ於

テ、署名捺印ガ缺ケテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、當然無効

ニナルト考ヘマス、成立ノ要件ヲ缺イテ居ルノデアリマス、

二項ノ契印ガ缺ケテ居ルト云フ場合ハ、其契印ガ缺ケテ居

ルト云フコトヲ爲シ、書類ノ連續ガ證セラレナイ、要スルニ

契印ナルモノハ、書類ノ連續ガ證セラレナイ、書類ノ連續ガ證

ガ無イ結果ハ、書類ノ連續ガ證セラレナイ、書類ノ連續ガ證

セラレナイ爲ニ、其書類ガ離レタメタナッテ、果シテ成立ガ

認メラレカドウカ、尙ホソレデモ成立ガ認メラレカドウカ

ナ場合デアッタラバ、終ヒノ方ニデモ、無クモ宜イ紙ガ着

イテ居ルト致シマス、其紙ノ契印ガナイト云フマウナ場

合ナラバ、其終ヒノ紙トノ連續ハナイモノト見デモ、尙ホ書

類ハ完備シテ居ルト言ハネバナラス、要スルニ此契印ガナ

イ爲ニ無効ニナルカドウカト云フコトハ、事實問題デアラ

ウト思ヒマス

○宮古委員 矢張其點デアリマスガ、第一項ノ方ガ當然無

効トナルト云フコトハ、何處ニ根據ヲ置テ居ルノデアリマ

スカ、ハッキリ分リセヌガ、是モ矢張七十一條ニ疑義ヲ貼ス

コトニナリハセヌカト思ヒマス、殊ニ此方ニ付テマシテハ、

餘程議論ノ餘地ヲ存スルモノデアラウト思フノデアリマ

ス、契印ガナカッタ所ガ、差支ナイト云フ解釋ヲ執ル者モ出

來テ來マセウシ、ドウモ甚ダ是ハ將來ニ向ッテ色々ナ議論餘

地ヲ貼ス弊ノアルモノデアラウト思ヒマス、然ラバ之ヲ現

行法ノ通りニシテ置クト云フコトノ方ガ、寧ロ宜クハナイ

カト思ヒマス、現行法ノ通りニシテ差支ヘルコトガアリマ

スカ

○秋山政府委員 第一項ノ方ガ當然、無効ト云フ事ハ、私ノ

申シタ事ガ不完全デアリマシタガ作成者ノ署名捺印ガ無イ

ト云フ場合ハ、署名捺印ガ無イ爲ニ如何ニシテ其文書ガ成

立シタカ分ラナイヤウナ場合デアリマス、ソシテ其書類ガ

無効ト云フコトニ解釋セラルト思フ、若シモ其年月日ヲ缺

イタナラバドウカ、年月日ヲ缺イタト云フコトノ爲ニ、直ニ

其書類ヲ無効トスル必要ハナイト思ヒマス、唯併ナガラ其

書類ニ依ッテ、其書類ガ何時作成セラレタカト云フコトヲ立

證スルカハナイ、斯様ナ意味デ事實問題ニナル、一モ二モナ

ク之ヲ悉ク無効トシテシマフト云フ軍ハ、從來ノ經驗カラ

見マシテモ、頗ル不便ナ事ガアッタノデアリマス、書類ノ本

質ニ付テ有効無効ヲ定メルト云フ方ガ正當デアリマス、斯ウ

云フ意味デ現行法ト變テ案ガ立テラレタモノデアリマス

○宮古委員 只今ノ御説明ヲ伺ッテモ、マダ諒解出來ナイト

思ヒマスガ、例ヘバ署名ハアッテモ捺印ノ無イト云フコトモ

出來テ來マセウシ、又署名捺印ハアッテモ官署公署ノ印ガ無

カッタト云フヤウナ事モアリマセウシ、若クハ其表示ノ無

カッタト云フコトモアリマセウシ、色々ノ場合ガ出テ來ルダ

ラウト思フノデアリマス、現行法ガ大變ムジカシク條文ヲ

設ケテ置クノハ、無意味ノモノデハナカラウト思ヒマス、詰

リ刑事ノ關係デアリマスカラ、事柄ヲ最モ鄭重ニシナケレ

バナラスト云フ趣意カラ出テ來テ居ルノデアラウト思フ、

好イ加減ノ事デ宜イト云フコトデハナイコトハ明カデアリマ

ス、矢張刑事ノ證據ナル所ノ記録デアリマスカラ、今マデ

ノ法律ノ通りニ、嚴正ニ鄭重ニ致スヤウニシテ置イテ、少シ

モ差支ハナイト思ヒマス、事實問題ノ一々ニ付テ裁判官ガ

判斷ヲセナクテヤナラスト云フヤウナコトコソ、中々煩雜

ノモノデアラウト思ヒマスカラシテ、矢張今マデノ通りニ

シテ置イタ方ガ宜クハナイカト思ヒマス、殊ニ今申シマシ

タ署名ガアッテ捺印ガ無カッタト云フ場合、若クハ官署公署

ノ印ガ無カッタト云フ場合ニ、必ズシモ無効トスル御意見デ

ハナイヤウデアリマシタガ、其點ニ付テハ如何デアリマスガ、

尙ホ是ハ現行法ノ通りニシテハイケナイカドウカ、其點ダ

ケヲ伺ッテ置キマス、其他ハ議論ニナリマスカラ伺ヒマセヌ

○秋山政府委員 現行法ガ、官吏公吏ノ作成スベキ總テノ

書類ニ對シマシテ、僅カノ形式ヲ缺イテモ之ヲ無効ニスル、

斯様ニ定メタコトハ、少シク窮乏ニ過ギルノデアリマス、宮

古君ノ御主張ノ如クニ、無論刑事訴訟法ニ關スル書類デア

リマスカラシテ、嚴格ニスルガ宜イト云フコトハ、一應ノ御

意見デアリマスガ、之ヲ悉ク左様ニスルト云フ事ガ果シテ

常識ニ適テ居ルカドウカ、ドウモ從來常識上ヨリ考ヘテ、書類ヲ有效ト認メテ、宜イヤウナ書類ガ、僅カノ形式ノ爲ニ無効ニナル、更ニソレデ手續ヲ仕直シテ掛カラナケレバナラヌ、此仕直スト云フヤウナコトハ、何等利益ニモナラズ、寧ロ裁判ヲ長引カシテ、被告人ノ不利益ニナルト云フヤウナコトハ、随分法律社會デ經驗シ來タ事實ダト思ヒマス、隨テ此書類ガ有效ナリヤ無効ナリヤ、其實質ニ付キテ、事實問題決スル、併ナガラ判決ノ如キ重要ナルモノハ、極端ニ一寸トシタ形式ヲ缺イテモ、無効トスルト云フ主義ヲ探ルガ宜カラト云フノデ、判決ヲ除ク其他ノ書類ニ付テハ、事實問題ニ付テ決スルト云フ主義ノ本案ノ立案ガ、必ズシモ當ヲ失シテ居ルモノデハナイト考ヘテ居リマス

○熊谷委員 サウスルト署名捺印ノ落チテ居タ場合ハ、事實ニ依リテ決定シテ、是ガ無効デナイ、有效ナル場合ガ出テ來ルガ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ、

○秋山政府委員 署名捺印ヲ遺脱シテ居ルヤウナ場合ハ、無効ナリト思ヒマス

○熊谷委員 無効ニナリマスカ——モウ一ツ其次ノ、所屬ノ官署公署ヲ表示シナイ場合ハドウナリマスカ

○秋山政府委員 其場合ハ其書類ガ何處ノ官署デ作成セラレタカト云フコトハ、其書類デハ立證出來ナイト云フ結果ヲ齎スト考ヘマス

○熊谷委員 サウスルト矢張無効ニナルコトニ結論ハ歸着スルノデアリマスカ

○秋山政府委員 其場合ハ書類ノ性質其場合ノ如何ニ依ッテ、或ハ有效トナリ、或ハ無効トナルト云フコトヲ生ズルト考ヘテ居リマス

○熊谷委員 署名捺印ガアル、サウシテ官署若クハ公署ノ表示ガ無イ、併ナガラ署名捺印其他ノ狀況ニ依ッテ何處ノ官署デ作成シタモノデアルト云フコトガ分レバ、ソレハ有效ニスル御趣旨デアリマスカ

○秋山政府委員 其書類次第デ、ソレガ判明スル場合矢張有效デアルト考ヘマス

○熊谷委員 第二項ノ書類ノ每葉ニ契印スヘシトアルガ、此契印ガ落チテ、一番終リニ署名捺印ノアル場合ニ、其前ノ部分ハ無効ニナルカモ知レマセスガ、其後ノ部分ハチヤント總テノ條件ニ滿シテ居ル、サウ云フ場合ニ於テハ、前ノ方ハ無効ニナルカ知ラヌガ後ノ方ノ連續ノアル部分ハ、有效ニナルト云フヤウナ意味合ヲ、此二項ニ持ッテ居ルノデナイカト木員ハ解シテ居ルノデアリマス、サウスルト結局證據法上ノ問題ニ歸スルノデハナイカト解釋シテ居ルノデアリマスカラ、前ノ契印ノ無イ何處ノ官署若クハ誰ガ作成シタモノカ分ラナイモノハ、是ハ當然無効ニナル、後ノ部分ハ、

日附モアル、署名モアレバ、捺印モアッテ、其點ニ付テハ、此事實ノ證明ガ付クト云フ場合ニハ有效ニナル、斯ウ云フ風ニ自分ハ解釋シテ居ル、即チ證據法上ノ問題デ解釋スルモノデハナイカト考ヘルノデアリマス、政府委員ノ御意見ハドウデアリマスカ

○秋山政府委員 此二項ノ場合ハ、要スルニ契印ヲ缺イタ結果、其缺イタ部分ニ於ケル書類ノ連續ガ認メラレナイ、隨ッテ其前ノ部分ト後ノ部分トガ、一ツノ書類ト認メラレナイ、併ナガラ後ノ部分ノミヲ以テ獨立ノ文書トシテ解釋シ得ル形デアリマスレバ、尙其後ノ部分ハ有效デアアル、或ハ前ノ部分ダケヲ以テ同一ニ解スル場合ニハ、前ノ部分ダケニ付テ矢張有效デアアル、斯様ニ信ズルノデアリマス

○宮古委員 七十二條モ矢張七十一條ト同ジヤウデ、書類ニ文字ノ改竄ヲシタカ、挿入削除ヲシタカ、色々ナ場合ニ於テ、今日迄ノ規定デハ無効デアッタノデスガ、此法案デハ、是モ矢張事實問題トシテ、必シモ無効ニハセス、斯ウ云フ趣意ノヤウニ思ハレマスガ、其通りデアルカ否カト云フコト、ソレカラ尙ホ先刻申シマシタヤウニ、刑事ノ證據トナル所ノ記錄デアリマスカラシテ、文字ノ改竄ヲスルトカ、削除スルトカ、色々ナコトヲシタ場合、ソレヲ多クノ場合ニハ、有效トスルト思ヒマスガ、矢張是ハ面白クナイコトデナカラウト思フ、之ニ對スル政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○秋山政府委員 七十二條モ矢張七十一條ト同趣旨デ改メラレテ居ルノデアリマスガ、是ハ寧ロ七十一條ヨリハヨリ多ク無意味ナル點ニ於テ書類ヲ無効トシテ初カラ手續ヲヤリ直スト云フヤウナ、煩雜ナ方法ヲヤッテ居リマス、所ノ事柄ハ、矢張法曹界一般ノ經驗シテ居ル所デアリマス、是モ矢張書類ノ實質ニ依ッテ、有效無効ヲ事實上定メテ行クト云フコトガ正當デアラウト云フ見地カラ、斯様ニ致シタ次第デアリマス

○宮古委員 現行法デハ挿入削除等ノコトガアレバ、ソレニ認印ヲ捺ス、其數ヲ記載スルヤウナコトガアリマス、サウ云フ場合ニハ、單ニ其手續ヲ履マナケレバ増減變更ノ效ガ無イト云フコトデ、書類ヲ全部無効ニスルト云フ譯デハ決シテナイ、七十一條ノ方ノ場合ニ於テハ、書類全部ヲ無効ニスルト云フコトニナルヤウニ、思ヒマス、ケレドモ——

ソレニ現行法ノ場合ヲ云フノデアリマスガ、七十一條ノ方デハ、別ニ書類全部ヲ無効ニスル譯デハナイカラシテ、挿入削除改竄等ガアリマシタ場合ニハ、矢張認印ヲ捺スヤウナ手續ニシテ置ク方ガ、至當デアラウト思ヒマス、サウ云フコトガ缺ケテモ、無効ニナラヌト云フ事デアレバ、裁

判所デハ事實問題トハ言ヒナガラ、大低ノ場合ニハ有效ニシテシマウデアラウト思フ、サウスルト又色々弊害ハ起リハシナイカ、詰リ刑事ノ記錄ニ於テハ、被告人又ハ證人ノ陳述ガ終ッテ後ニ、裁判所ニ於テ改竄シタノデアアル、若クハ挿入削除シタノデアアルト云フコトヲ主張スル者ガ度々アルノデアリマス、サウ云フコトヲ吾々ノ耳ニスルノデアリマスカラ、矢張是ハ嚴正ナル手續ヲ經テ置クヤウニシテ置イタ方ガ、良クハナカラウカト思ヒマスガ、今迄ノ通りニシテイテハ差支ガアリマス、此點ヲ伺ヒマス

○秋山政府委員 今迄ノ所デ隨分煩ニ堪ヘナカッタト云フ事ハ、只今中上ダケ通りデアリマスガ、官吏公吏ノ作成シタ書類ガ、後ニ改竄セラレタト云フヤウナ事ハ、絕對ニ有リ得ベカラザルコトデアルト思フデアリマス、大體此趣意ハ寧ロ削除シタル部分ノ文字ヲ讀ミ得ベキ形ニ存シテ置ケト云フノデ、是ハ訓示的性質ヲ帶ビテ居ルモノト考ヘルノデアリマス

○横山(勝)委員 六十五條ノ質問ハ濟ミマシタカ

○熊澤委員 濟ミマシタガ、オヤリニナッテモ宜シウゴザイマス

○横山(勝)委員 ソレデ一寸斯ウ云フ事ヲ伺ヒタイノデスガ、速記者ヲ公判ニ附ケル場合ニ、宣誓ノ法ヲ用キナケレバ、其結果ノ公正ノ保證スルコトハ困難デアルト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、其點ニ付テ質問竝ニ答辯ガアリマシタカ

○熊澤委員 長 アリマセヌ

○横山(勝)委員 サウ致シマス、六十五條ニ付テ一寸意見ヲ質シテ置キマスガ、速記者ガ公判廷デ被告若クハ證人ノ供述ヲ筆記スルト云フコトハ、是ハ本案デ認メラレテ洵ニ結構ナ事デアルト考ヘマスガ、但シデス、速記者ハ無論公平誠實ニ有ノ儘ヲ速記シテ、之ヲ提出スルモノト考ヘマスガ、併ナガラデス、裁判官ガ直接ニ訊問ヲシテ、證人ニシテモ、鑑定人ニシテモ、宣誓ト云フコトノ制度ガアッテ始メテ其供述ノ結果ト云フモノガ證據力ヲ持ツ、公正ナモノデアルトシテ、裁判官ガ之ヲ證據ニ供スルコトガ出來ルコトニナルノデアリマス、サウ云フコトデアリマスレバ、矢張速記者モデス、公平ニ又正直ニ速記シテ、其速記シタモノヲ翻譯シテ出ス、此鑑定人類似ノ宣誓ノ制度ヲ設ケルコトニ致シマスナラバ、洵ニ結構デハナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス、其點デ何カ御審議ニナッタコトガアリマス、サウ云フ方法ヲ講ゼザル譯ハドウ云フ譯デアリマス、ソレヲ承リタイ

○秋山政府委員 只今御質問ノ速記者ニ宣誓セシムベキヤ否ヤト云フコトハ、審議ノ中ニ加ッテ居ラナカッタト私ハ承

知シテ居リマス、問題ニナツタコトハナイト私ハ承知シテ居
リマス、唯責任ヲ以テ全然無カッタト云フコトハ御答ハ出
來マセヌガ、私ガ關與シテ居ル範圍内ニ於テハ、左様ナ點ガ
審議セラレタ事ヲ耳ニ致サナカッタ、又速記者ニ本案ニ於テ
辯護人ノ方カラ裁判所ノ許可ヲ受ケテ、公判ニ速記者ヲ用
キルト云フ此立前カラ言ヒマススレバ、宜誓ヲ致サスト云フ
コトハ、ドウダラウカト考ヘラレマス、裁判所ガ命ズル鑑定
人、裁判所ガ喚問シタル證人、ソレト同ジヤウニ取扱フト云
フコトハ、如何カト考ヘラレマス次第、原案通りノ如クン
バ、宜誓ヲ用キルマデニ致サナカテモ宜カラウト考ヘマス

○鶴澤委員長 第七十三條、七十四條ヲ一緒ニシマス
○上島委員 一寸私ハ少シ前ニ戻ラテ、第六章デスガ、第五
十五條ノ法文ノ意味ヲ明カニシテ置キタイト思ヒマスガ
如何デス

○鶴澤委員長 宜シウゴザイマス
○上島委員 第五十五條ニ「訴訟ニ關スル書類ハ公判開廷
前ニ於テハ之ヲ公ニスルコトヲ得ス」トアル此訴訟ニ關ス
ル書類、或ハ裁判所ノ書記ノ作成シタル書類ト云フ中ニハ、
例ヘバ證據物ノ如キモハハ之ニ包含ラシナイト云フ解釋ヲ
取テ宜シイカ、政府委員ノ御考ハドウデスカ

○秋山政府委員 訴訟ニ關スル書類ノ中ニハ、證據物ハ含
マナイト考ヘテ居リマス
○鶴澤委員長 第七章送達……

○横山委員 一寸待ッテ——七十三條デ同ヒタイ、七十三條
ハ、官吏又ハ公吏ニ非ザル者ヲ作ルベキ書類ニハ、年月日ヲ
記スベシト、斯ウ云フノデスガ、此吾々ノ側ノ意見シテハ
ソレデ大體宜イノデスガ、年月日トソレカラ 署名捺印ダケ
デハ、ドウ云フ人ガ作ッタルアルカ知ルニハ、甚ダ不十
分デアリマス、ソコデ此職業トカ、ソレカラ年齢トカ、住所
トカ云フモノヲ加ヘタラドウカト云フ意見ガアルノデアリ
マスガ、ソレハ多少後トデハ這入ルコトニナルノデアリ
マスカ、或ハ全然省ケル譯デアリマスカ、ソコノ所ヲ一寸承
ッテ置キタイ

○秋山政府委員 七十三條ノ書類ニ、只今仰セノヤウナ事
柄ヲ記載スルコトハ、要求ハセナイモノト考ヘマス
○横山(勝)委員 サウスルト此元ノ大正五年ノ原案ニハ、
確ニ住所職業ヲ書クコトニナツテ居リヤウニ思ヒマスガ、
其住所職業ヲ御制リニナツタノハ、ドウ云フ意味デスカ
○秋山政府委員 要スルニソレマデノ必要ガナイダラウト
云フコトデ御制リマデアリマス

○横山(勝)委員 是ハ問題ハ小サイヤウデアリマスガ、是
ガ事實ニ於テハ果シテ此書類ヲ被告ニ不利ナル證據ト
シテ取ルカ取ラヌカト云フ場合ニハデス、住所モナシ、職業

モナイ、署名モナイ、何レノ者ガ書イタモノカト云フコトガ
認メラレマセヌガ、若イ者カ老人ガ作ッタモノカ、ソレスラ
知ルコトガ出來ヌト云フコトニナレバ、非常ニ被告人、辯護
人側ニ於テモ困難ナルコトデ、是ガ爲ニ裁判官ガドウ云フ
人カラ調べケナレバナラヌ必要ヲ生ジテ來ルノデアリマス
ガ、成ベク鄭重ニスル意味ニ於テ、又後日ニ於テ疑ヲ避ケル
爲ニ、住所トカ、職業トカ、年齢ヲ加ヘテ置イタ方ガ宜イト
思ヒマスガ、ソコハドウデゴザイマスカ

○秋山政府委員 無論仰シヤル通り、此年齡職業住所等ハ
書イテナイ爲ニ、ドウ云フ人間ガ作成シタルカ分ラヌヤウ
ナコトニナリマススレバ、證據力ガ乏シイコトニナルノデア
リマス、何者ガ書イタカ分ラヌモノガ斷罪ノ證據ニ供セラ
レルト云フヤウナコトハ、實際上カラ致シマススレバ、裁判ノ
瑕疵ニナルコトト考ヘマス、現ニ他ノ規定デハ、事實上書イ
タ者ノ分ラナイ匿名ノモノナドハ、特ニ注意ヲ拂フト云フ
コトヲ規定シテアリマス、其趣意カラ致シマシテモ、作成者
ガ責任ヲ帶ビテ作成シタル文書デナケレバ、之ヲ採用シテナ
ラナイト云フ主義ガ全體ニ現レテ居ルノデアリマス、只今
ノ御質問ノヤウナ場合ニハ、必ズ作成者ヲ確メルト云フ手
續ヲ執ッテ始メテ其書類ガ罪證ニ供セラレルト云フコトニ、
必ズナルモノト考ヘテ居リマス

○鶴澤委員長 第七章送達第七十五條
○熊谷委員 第七十五條「裁判所所在地ニ住居又ハ事務
所ヲ有セサルトキハ其ノ所在地ニ住居又ハ事務所ヲ有スル
者ヲ送達受取人ニ選任シ」ト云フコトノ規定ガアリマス、此
場合ニ於テ、此住居又ハ事務所ノ届出ラシナイ場合ニハド
ウナルノデアリマセウカ

○秋山政府委員 届出ガ無イ場合ニハ、結局送達出來ナイ
ト云フコトニナルト考ヘマス
○熊谷委員 サウシマスルト第七十八條「被告人ノ住居、
事務所及現在地知レサルトキハ公示送達ヲ爲スコトヲ得」
此方法ニ依ッテ公示送達ヲ爲スコトニナルト考ヘテ宜シイ
ノデスカ

○秋山政府委員 七十六條デ、郵便ニ付シテ送達ヲスルト
云フコトニナルト考ヘマスガ、隨テ郵便ニ付セラル、結果
幾分ノ不利益ガ生ズルモノト考ヘマス
○横山委員 是ハ實際問題ニナル規定デスガ、例ヘテ見レ
バ辯護士ガ東京地方裁判所管内デ仕事ヲシテ居ル時分ニ
ハ、無論ソレデ宜イ譯デスガ、他管内ニ行ッテ吾々ガ職務ヲ
執ルト云フ場合ニ、裁判所ハ住所ヲ知ッテ居ルノデス、實ハ
辯護士協會ノ名簿ヲ皆配ッテ居リマスカラ知ッテ居ルケレド
モガ、通知ヲセヌデモ其失權ノ效果ヲ生ジナイト云フヤナ
事ヲ、大審院ハ屢々判斷シテ居ル、管内デアアル場合ニハ通知

スル必要ハアルケレドモ、管外ニ居ル場合ニハ、權利ヲ失ッ
タモノヲドウモ送達スル必要ハ無イト斯ウ云フコトデ、能
ク辯護人ニ公示セシメズシテシマッタモノヲ、矢張正當ナリ
トシテ、大審院ニ於テ認可セラレテ居ル例ガ屢々アル、是ハ
多クノ場合ニ於テハ餘リ困ラヌ事デスケレドモ、事實ニ於
テ時々今言ッヤウナ場合ヲ生ジテ、迷惑スル場合モアルノ
デスガ、今申上ゲタ例ノ場合ハドウナルノデスカ、届出ラシ
ナカッタナラバ……

○秋山政府委員 只今ノヤウナ場合ニハ辯護人カラ届出ヲ
致ス、裁判所所在地ニ事務所ヲ持ッテ居ラナイ場合ハ、所在
地ニ住居又ハ事務所ヲ持ッテ居ル者ヲ選任シテ届ケル、届ケ
テ居ラナカッタ場合ニハ、七十六條デ郵便ニ付シテ送達スル
ト云フコトデ、實際上ニ不都合ヲ生ジナイモノト考ヘマス

○横山(勝)委員 サウスルト此七十五條ニ書イタル様ナ
訴訟關係人ガ届出ラシナカッタ場合ニハ、七十六條ノ規定ニ
依ッテ、郵便ニ付シテ送達スルノデスガ、ソレハ出來ルカ出
來ヌカト云フコトハ、裁判所ノ詰リ職權ニ屬シテ居ル事デ
ス、恐ラク書記ノ任務デアリマセウ、サウスルト書記ガ好意
ヲ以テヤッテ呉レ、バヨシ、呼出ラ發シテ呉レナカッタラ、ソ
レデ矢張失權ノ效果ヲ生ズル、此七十七條ノ規定ハ「郵便ニ
付シテ其ノ送達ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウナッテ居ル、アノ辯
護人ハ、此管内デアナイノダカラシテ、住所ガ分ラヌト云フヤ
ウナコトデ、ソレデ打棄ッテ置イテ宜シイト云フ事ニナルノ
デスカ、

○秋山政府委員 ソレハ送達スベキ書類ノ性質ニ依ッテ違
ヒハセヌカト思ヒマス、辯護人カラ辯護ノ届出ガ出テ居ル、
併ナガラ其裁判所管内ニハ、住居モ事務所モ持ッテ居ラレ
ナイ、尙ホ其場合ニ全然辯護人ヲ呼出サナイデ、公判ヲ開ク
ト云フコトハ出來ナイダラウト思フ、ソコデ呼出狀ノ送達
ヲドウスルカト云フ場合ニハ、七十六條ニ依ッテ郵便ニ付シ
テ送達ヲスル、斯ウ云フ事ニナルノデス

○横山(勝)委員 ソレデスカラ今熊谷サンガ仰シヤルヤウ
ニ、スルコトヲ要スルノカ、送達ヲセヌデモ宜イノカト云
フノデス、得「ト書イテアル
○秋山政府委員 送達ヲ要スル書類ニ付テ、七十五條ニ依ッ
テ出來ナカッタ場合ニハ、七十六條デスルコトガ出來ル、斯
ウ解スル

○横山(勝)委員 出來ルノハ分ッテ居ルノデス、シナイデモ
宜イカト云フコトヲ、含ンデ居ルカト云フ事ヲ聽クノデス、
詰リ住所ガ分ッテ居レバ、郵便ニ付シテ送達スル事ガ出來ル
ト云フ事デアアルノカ、呼出ハ必ズ發シナケレバナラヌノデ
アルカ、斯ウ云フコトヲ私ハ聽イテ居ルノデス、普通ノ送達
ニ依ラズ、唯タ郵便ニ投リ込ムト云フノデ宜シイト書イテ

アリマスガ、其方法ノ選擇權ハ、裁判所書記方任ズルト云フコトデアッテ、呼出ハ總て送達シナケレバナラヌモノデアアルカ、セズデモ宜イノデアアルカ、得テ云フ字ガ書記ノ自由裁量ニ委シテアリマスカラ、郵便送達ニ付スル處置ヲシナカッタラ、辯護人ハ非常ニ困ル、訴訟關係人ハ困ル、斯ウ云フ結果ヲ生ジハセヌカトソレヲ心配スル

○秋山政府委員 呼出ハシナケレバナラナイノダト解シテ居リマス

○鶴澤委員長 第七十七條、第七十八條、第七十九條、第八章期間、第八十一條

○宮古委員 第八十一條ノ第三項ニ付テ一寸伺ヒマス、「期間ノ末日日曜日、一月一日二日四日」トナッテ居リマス、三日ハ除イテアリマスガ、ハ日本ノ慣習デハ三ヶ日ト稱シテ、一日カラ三日マデハ、先ヅ普通總テノ者ハ、休ムヤウナ風ニナッテ居リマスガ、一日二日四日ノ期間ニ算入セスト云フ規定ヲ作リマスルナラバ、矢張三日モ入レテ、一月一日二日三日四日ト云フコトニシタラ如何デスカ、其點ヲ伺ヒマス

○秋山政府委員 是ハ只今私モ十分記憶シテ居リマセヌガ、何レ祭日祝日、或ハ之ニ準ズルヤウナ日ヲ玆ニ列舉シタノデアアリマス、三日ハ何ニモ當ッテ居ナイノデアアッタト記憶シテ居リマス、尙ホ御必要デアリマスレバ、一ツ／＼取調ベク上デ申上ゲマス

○宮古委員 大祭日ト云フ中ニハ、或ハ三日ハ入ラヌダツタカドウカ覺エマセヌガ、入ラナイニシテモ、日本デハ一日、二日三日ヲ三ヶ日ト云フテ、總テノ事ヲ打棄テ、居ルト云フ習慣ガアリマスカラ、タツタ一日ノコトデアリマスノデ、此三日ト云フモノハ入レタラドウカ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル、御取調ニ相成ルコトハ尙ホ結構デアリマスカラ、ドウゾ御取調ヲ願ヒマス

○秋山政府委員 三日モ結局解釋上入ルト記憶シテ居リマスガ、一ツ／＼調ベテ申上ゲマセウ、是ハ吾々ノ知ッテ居ル範圍ナド、大變違ッテ居ル事ガアル、例ヘバ天長節大祭日デナイト云フヤウナ事柄ガアルノデス、是ハ調ベタ結果デアリマスカラ、細カイ理窟デアリマス

○鶴澤委員長 是ハ保留シテ置キマス、第八十二條

○宮古委員 八十二條ニ「海陸路二十里毎ニ一日ヲ加フ」ト云フ事ニナッテ居リマスガ、現行法トハ、大分隔ッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハモウ少し少ナクシテ、海陸路十里位ニシタラドウカと思ヒマスガ、諸リ汽車汽船ノ便ガアルカラ、二十里デモ宜イト云フ御意見ガ出來タノデアアラウト思ヒマスケレドモ、餘リ急激ニ斯様ニスルノハ如何ナモノデアアラウト思ヒマス、海陸路十里毎ニ一日ヲ加フト云フ位ニシタラ如何デスカ

○秋山政府委員 是ハ現行法制定當時ノ關係ト、今日ノ交通機關トノ關係カラ申シマスレバ、寧ろ現行法制定當時ノ八里ト云フヨリハ遙ニ緩カニナッテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデアアリマス、先ヅ少クトモ二十里毎ニ一日位ノ猶豫ヲ置イタラ、如何ナル場合ニ於テモ、十分デアアラウト云フヤウナ點カラ、寧ろ交通機關トノ關係カラ申シマスレバ、緩イ猶豫期間ニナッテ居ルノデアアリマシテ、今日以後施行スル法律トシテハ、是デ十分デアアラウト考ヘテ居ルノデアアリマス

○宮古委員 汽車汽船ノ有リマス所ナラバ、二十里アレバ十分デアアラウト思ヒマスガ、併シ汽車汽船ノ便利ノ無イ所モ隨分マダアル、ソレデ汽車汽船ノ無イ所ヲ標準トシテ定メル外ナカラウト思ヒマス、サウスレバ一日ニ二十里ト云フコトハ、ドウモ歩イテハ逆モムヅカシイ、車ノ便デモ果シテ二十里行ケルカドウカ是モ問題デアアル、デアリマスカラ、ドウモ里程ノ計算ニスル場合ニハ、汽車汽船ノアル所ヲ標準トスル譯ニハ行カヌダラウト思フ

○秋山政府委員 今日ノ所デハ裁判所所在地ト、人ノ住居シテ居ル場所トノ間ニ、汽車汽船ノ全然無イト云フヤウナ所ハ殆ド無イト考ヘマス、第二項ニ於キマシテ、交通不便ノ地ニ在ル者ノ爲ニハ、特ニ期間ヲ定ムルト云フコトノ出來ルヤウニナッテ居リマスカラ、法律トシテハ是デ差支ラズ生ズルコトハナカラウト考ヘテ居リマス

○横山(金)委員 此八十二條ノ二項デゴザイマスガ、「交通不便ノ地ニ在ル者ノ爲ニハ特ニ期間ヲ定ムルト云フコトヲ得」ト云フコトハ、是ハ變ナ事ヲ御尋シマスガ、從來ハ「裁判所ニ於テ特ニ法定期限ヲ定ムルト云フコトヲ得」トアリマシテ、今度ノ案ハ「裁判所」ト云フ文字ガ除ケテ居リマスガ、是ハ誰ガ定メルノデアリマスガ、ソレカラ特ニ期間ヲ定ムルト云フコトハ、ドウ云フ形式ニ於テ定メルト云フ御考ヲ持ッテ居ラレルノデアリマスガ

○秋山政府委員 此定メルコトハ、法定期間ノ原因トナルベキ事柄ニ依ッテ違ハウト思ヒマス、サウシテ之ヲ定ムル者ハ無論裁判所デアリマス「裁判所」ト云フ言葉ハ、此案ニハ成ベク分ッテ居ル所ニハ使ハナイヤウナ形ニナッテ居リマス

○横山(金)委員 サウスルト其期間ハ事件々々ニ付テ定ムルト云フコトデスカ、是ハ特ニ申請ヲスルトカ何トカシナケレバ定メヤウガナイ、是マデ實例ガ無論幾ラモアッタラウト思ヒマスガ、實例ノ場合ハ一寸御示ヲ願ヒタイ、一寸諒解ニ苦シム……

○秋山政府委員 是ハ例ヘバ判決ノ申渡ヲシテ、控訴ノ法定期間ガ何日、ソコヘ猶豫期間ヲ何日置クト云フ決定ヲスルト云フコトニナルダラウト思ヒマス、判決デ例ヲ採リマズレバ――

○横山(金)委員 是ハ其當事者カラノ申請ニ待ッテ、之ヲ定メルノデアリマスルカ、又裁判所ガ自ラ考ヲ選ラシテ定メルノデアリマスカト云フ事ト、ソレカラ無論事件々々ニ付テ定メルノデアリマセウケレドモ、凡ソ其被告人ノ住所トカ、所在地、居所ト云フモノハ定ッテ居ルノデアリマスカラ、記録ヲ見テ、被告人今何處ニ居ルノデアルト云フ事ヲ裁判所ガ自ラ自覺シテ、此事件ニ付テハ法定ノ期間ヲ是ダケ延長スルト云フコトヲ、豫メ裁判所ノ方デ當事者ニ通知デモシテ置クト云フノデスカ、其形式ガ一寸分リマセヌ、實際疑ガアルカラ御尋スルノデアリマス、ドウカ深切ニ一ツ場合ヲ御示ヲ願ヒタイ、ドウ取扱ウテ宜イカ扱ニ一寸困ッテ居リマス

○秋山政府委員 只今マデノ扱ノ實例ハ承知シテ居リマセヌ、併ナガラ此條文ノ解釋ヲ致シマスレバ、無論個々ノ場合ニ致スモノデアリマス、サウシテソレハ當事者カラ申出ニ依ッテ、ソレニ促サレテ發動スル場合、裁判所自ラガ注意シテ發動スル場合、何レモアラウト思ヒマス、其ノ方決定致シマシテ當事者ニ告知スル方法、是ハ法定期間ノ原因トナル事柄ニ依ッテ違フト思ヒマス、只今ハ判決デ例ヲ採ッテ申上ゲタノデスカ、判決言渡ニ依ッテ、爾後上訴ノ法定期間ハ五日ナラ五日、七日ナラ七日ノ期間ニ上訴ヲ爲シ得ベキモノデアアル、但シ上訴申立人ガ交通不便ノ地ニ在ルカラ、八十二條第一項ノ期間ト違ッテ是ダケノ長イ期間ヲ許スト云フコトヲ、當事者ニ告知スルコトニナルト解シテ居リマス

○横山(金)委員 サウ致シマス、豫メ期間ノ延長ヲ願ヒマスノハ問題ニナリマセヌガ、控訴ナラ控訴ヲ致シテ、當前ノ控訴期間ガ經過シタ場合ニ、其申請書ガ裁判所ニ到達スル、當前カラ云フト許可ヲ得テ居リマセヌカラ期間ハ切レテ居リマスガ、サウ云フ場合デモ、裁判所ガ成程ハ不便デアッタト云フノデ、控訴期間ヲ延長シテ呉レマスレバ、自ラ效力ハ保チ得ルト云フコトニ理解シテ宜シイノデスカ

○秋山政府委員 ソレハ法定期間ト、八十二條第一項ノ猶豫期間ト加ヘタモノガ經過シタ後デハ、之ヲ延ベル方法ガ無クナルト思ヒマス、法定期間ト、八十二條ノ當然法律ニ定メタ猶豫期間ガ經過シナイ間ナラバ、之ヲ特ニ延長スルコトガ出來ルト解釋致シマス

○横山(金)委員 サウ致シマス、豫メ願ッテ置カケレバ仕方ガナイト解シテ宜イノデスカ、又豫メ願ッテケレドモ、其書面ハ法定期間經過後ニ到著シタ、實質上是ハ不便デアルト裁判所ガ認メテモ、特殊ノ事情ガ生ジテ參テモ、上訴期間ガ緊ガナイト云フコトニナルノデスカ

○秋山政府委員 ソレハ八十二條第一項ノ猶豫期間ガ付テ、其法定期間、經過致シマスレバ、其訴訟行爲ガ出來ナク

ナルト云フコトガ定マルノデアリマス、ソレカラ後ニソレヲ延長スル方法ハ出来ナイ結果ニナル

○横山(金)委員 サウシマス、法定期間ノ其當日ニ未ダ切レザル前ニ當テ、期間延長ノ申請書ヲ届イデ、裁判所ハ未ダ裁判ヲ爲シテ居ラス、斯ウ云フ場合ヲ想像シタラドウナリマス、遂ニ裁判ヲ爲サズシテ期間ガ切レシマツタ、此時デモ矢張此條文ノ活用ハ無イノデスカ

○秋山政府委員 ソレハ原狀回復ノ方法ニデモ依ルヨリ致方ナイモノト考ヘテ居リマス

○横山(金)委員 原狀回復ノ行ハレル時ト、此場合ノ期間延長トハ意味ガ違フヤウニ思ヒマスガ、モウ少シ御考慮サレ下サル譯ニハ行キマセヌカ、實際斯ウ云フ條文ハ實用ガ無イカノ如クデ、時ニ實用ノ有ル時ニハ大變ナ意味ヲ持ツ條文デアリマス、原狀回復ノ場合ハ、天災地變之ニ類スル事情ノ爲メ、過失無カラシムル爲ニ回復スルト云フ意味デ、大分是トハ違フテ居リマスガ、矢張此場合ニ當嵌メテ宜イノデゴザイマス

○秋山政府委員 原狀回復ノ場合ニ該當スルカドウカト云フコトハ、少シ研究ヲ要スル問題ト思ヒマス、兎ニ角八十二條ノ解釋ト致シマシテハ、期間經過デアレバ延長ガ出来ル、經過後ニハ訴訟行爲ヲ爲シ得ナイト云フコトガ確定シタ時期デアリマス、是ハ延長ノ方法ガ無イト思ヒマス

○宮古委員 八十二條ノ里程ノ猶豫、是ハ上訴ノ場合ニ控訴若クバ上告ノ場合ニ適用スル立案ノ趣旨デアリマス、カドウカ、本案ノ第三百九十七條ニハ「控訴ノ提起期間ハ七日トストアリ、ソレカラ四百二十條ニハ「上告ノ提起期間ハ五日トスト書イデアリマス、是ハ今日マデノ法律トシテハ大分問題ガアツタノデアツテ、里程ノ猶豫モ加フベキモノデアルト云フ意見モ、アルヤウニ承知シマスガ、併ナガラ裁判例デハ、上訴ニ付テハ里程ノ猶豫ハ無イト云フコトニナツテ居ルト承知シマス、ソコデ此法案ガ法律トナツテモ、矢張疑問ガ殘ルヤウデアリケマセヌカ、此里程ノ猶豫ト云フモノハ、上訴即チ控訴、若クハ上告ノ期間ニ對シテ適用スル趣意デ立案サレテ居ルノデアルカ否ヤト云フ事ヲ、明ニ御答ヲ願ヒタイ、此點ニ就キマシテハ、單ニ秋山君ノ意見トシテデナク、政府ノ意見トシテ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○秋山政府委員 八十二條ノ法定期間ト云フ中ニハ、法定期間ノ全部ヲ含ンデ居ルト解シマス、併ナガラ只今仰セノ上訴ノ場合ハ、裁判ガ告知セラレル如キ場合ニハ、裁判所ニ於テ當事者ガ裁判ヲ知ルノデアリマス、特ニ上訴申立期間ニ猶豫期間ヲ付スルノ必要ハ無イモノト考ヘマス、其方面ノ解釋カラシテ、結局上訴ノ申立ニハ猶豫期間ガ無イ、此案ニ於テモ同一ノ解釋ヲスルト考ヘテ居リマス

○宮古委員 政府委員ノ御答ニ依ルト、裁判所ニ於テ告知シタル場合ニ於テ、期間ノ猶豫ト云フモノハ無イモノデアアル、其結果トシテ控訴院若クハ上告ニハ、八十二條ハ適用ガ無イト云フ事デアリマス、カソレナラモウ一ツ御尋シマスガ、四百二十四條ノ此公判上告ニ於ケル公判日ノ通知ト云フヤウナモノニ對シマシテハ、之ヲ適用スル趣意デアリマス、カドウカ、其等ノ外尙ホ八十二條ノ適用ノアル場合ハ、ドウ云フ場合ヲ指シ意味デアリマス、ソレノ實例モ一ツ願ヒタイ、モウ一箇條第二項ニ付テ御尋シテ置キタイ、只今横山君カラ色々質問モアツタノデスカ、現行法デハ特ニ裁判所ガ定ムルト云フコトガ規定サレデアリマスガ、此八十二條ノ第二項ニハ左様ナコトハ無イノデアリマスガ、何カ此期間ノ始マル上ニ於テ、裁判所ガ此期間ヲ定ムルト云フ趣意カラ成立ッテ居ルノデハナイノデセウカ、是モドウ云フ場合ニス様ナ事ニスルカ、其實例ニ依ッテ一ツ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○秋山政府委員 御示ノ四百二十四條ノ規定ハ八十二條ト別段關係ノ無イ規定ト考ヘマス、一寸御問ノ趣意ガ解シ兼ネルノデアリマス

○宮古委員 先刻私ノ尋タノハ、四百二十四條ノ上告裁判所ニ於テ公判期日ヲ定ムル場合ニ於テ、此里數ノ猶豫ヲ見込ンデ期日ヲ定メナクテハナラヌモノデアアルカドウカ、即チ四百二十四條ノ場合ニ適用サレルモノデアアルカドウカ、被告人ガ遠方ニ居ル、其人ガ上告ヲシテ居ル、其遠方ニ居ル被告人ニ對スル公判期日ヲ定メ、其定メル際ニ、若クハ又其辯護人ガ遠方ニ居ル場合ニ期日ヲ決メルトキニ八十二條ノ規定ノ猶豫ヲ見込ンデ定メルノカドウカト云フノガ一ツデアリマス、ソレカラ其外尙ホ實例ニ依ッテ御示ヲ願ヒタイ

○秋山政府委員 四百二十四條ハ八十二條ト關係ハ無イヤウニ思ヒマスガ、八十二條ニ依リ、四百二十四條ノ場合ニ之ヲ計算シテ、此三十五日ガ何日カニ延ビルト云フヤウナ事ハ無イト考ヘマス

○宮古委員 關係ガ無イト云フコトハ無イト思ヒマスガ、四百二十四條ノ趣意ハ、即チ此上告裁判所ニ於テ公判期日ノ三十五日前ニ期日ヲ通知シト云フノデ、被告人若クハ辯護人ガ鹿兒島邊ニ居ルト假ニ定メ、其時ニ三十五日前ノ事ヲ定メルノデアリマスガ、里程ノ猶豫ヲ一切見込マズニ定メルナラバ樂ナモノガアルケレドモ、里程ノ猶豫ヲ見ナクテヤナラヌト云フ事ニナリマス、定メルト云フ事ハズ、ト前ニ定メナケレバナラヌ、三十五日前ト云フノデアアルガ何十日カ前ニ定メナケレバナラヌ、サウ云フ關係ノ意味ヲ問ウテ居ルノデ……

○秋山政府委員 此上告申立ノ期間ガ到達シテ來タトキト、ソレカラ此公判期日ノ間ニ三十五日ノ期日ガアレバ、ソレデ四百二十四條ノ要件ハ足りテ居ルモノト考ヘマス

○辯論委員 是ハ從前カラモ非常ニ——此前モ種々御尋ヲ申上ゲタノデ、議論モアル法條デアリマス、是ダケデ何等ノ追加ノ規定ヲ設ケズトモ足リルト云フ御見込デセウカ、私ハ修正案トシテ實ハ上訴ニ追加ヲ加ヘマスガ、控訴上告ニ付テハ之ガ適用ニナラヌトデモ書イテ置カケレバ、非常ニ議論ガ出テ來ルモノデアハナカラウカト思ヒマスガ、モウ一步政府委員ガ之ニ付テ、御考慮サレ餘地ガ無イモノデアリマス

○秋山政府委員 八十二條ノ條文ノ設ケラレル趣意ヨリ致シマシテ、當然ニ此告知ヲ受ケル所ノ裁判、其裁判ニ對スル不服申立、左様ノ場合ニ猶豫期間ヲ要スルモノデアハナイト云フコトノ趣意カラ、論議セラレテ來ルモノト考ヘマス、別段ニ其上訴ニ付テハ云スト云フヤウナ注意ヲ、條文ノ上ニ致シテ置ク必要ハ無イモノト認メクノデアリマス

○辯論委員 裁判ノ言渡ハ、必ズシモ言渡ノ場合ニハ被告人ガ居ラナクテモ、詰リ其者ガ知ラナクテモ效力ガ發生スルコトニナル、其等ハ言渡ノ形式ガアリサヘスレバ告知ヲ受ケタモノト看做シテ、矢張ハ適用ニナラヌト云フ御趣意デアリマス、カ、ソコマデ行カケレバ議論ガ一貫シナイト思ヒマス

○秋山政府委員 裁判言渡ノ期日ノ通知ガ到達シテ居ラナイヤウナ場合ニハ、被告人ガ居ラナイ所デ裁判ノ言渡ハ出来ナイノデアリマス、裁判言渡ノ期日ガ被告人ニ通知セラレマシテ、何日裁判ノ言渡ガアルト云フ事ハ當事者ニ分ッテ居リマス、當事者ハ其當時法廷ニ出頭スベキデアリマス、ガ、是ハ當事者ノ知ラナイ場合ニ、裁判ノ言渡ヲサレルモノデアルト云フコトニナラナイト考ヘマス、實際ニ於テモ言渡期日ヲ承知シテ居ル、當事者ガ知ラナイ間ニ言渡サレルト云フコトハ、實際ニ於テ無イト考ヘマス、隨テ法廷ニ居ラト云渡サレル、被告人ノ法廷ニ在ラザル時ニ言渡サレタコトト、同ジ事ニ解シテ差支ナイモノト考ヘテ居リマス

○上島委員 私モ今ノ點ヲモウ一應確メテ置キタイノデス、此法定ノ期間訴訟行爲ヲ爲スベキモノト云ヘバ、餘程廣イヤウデアリマス、ケレドモ、主トシテハ被告人ヲ指スコトハ明カナ話デアリマス、サウシテ此訴訟行爲ヲ爲シ得ベキ權能ハ、一定ノ期間ニ制限スルト云フノデハ、是ハ上訴ノ場合ヲ除イテ、殆ト刑事訴訟法デハ見出スコトガ出来ナイ、民事デハ澤山アリマス、ケレドモ、刑事デハ殆ト無イト云フテモ宜イ、之ヲ上訴ニハ一切適用セズト云フコトニナルト、八十二條ノ規定ハ、是ハ殆ト其效用ヲ爲サナイ無用ノ法文ノヤウニ思ハレル、今日ノ解釋ハイケナイト思フ、現行法ニ於テモサウ云フ解釋ハイケナイト思ヒマス、ソレハ措テ、此

法案ダケニ付テ見マスレバ、殊ニ裁判ハ告知ノ日カラ進行スルト云フ事ハ起算點ニ關スルモノデアッテ、猶豫期間ヲ與ヘラレカ、ドウカト云フ事ニ關係シナイモノアテルト云フコトハ、法文デ明カデアリマス、裁判ノ告知ノ日ヨリ進行スルト云フコトハ、八十一條ニ「初日ヲ算入セス」ト云フ例外ガアル、八十二條ヲ除外スルト云フ意味デナイト云フコトハ、法文ヲ見テ吾々ガ直ニ頭ニ浮ブ、併シ此控訴上告等ニ付テハ、成程被告人ハ其場ニ居ルデセウ、サウシテ原裁判所ニ出ス猶豫期間ヲ與ヘズトモソレハ出セルカラ、實際ニ於テ差支ナイト致シマシテ、即時抗告ガアルト云フコトヲ吾々ハ考ヘナケレバナラス、即時抗告而モ三日間デ即時抗告ヲ爲シ得ル、裁判ノ言渡ハ要スルニ裁判デアル、送達其他便宜ノ方法ヲ以テ告知スルコトガ出來ル、告知ヲ受ケル所ノ當事者ガ、或ハ裁判所ノ隔リガ百里モ一五百里モ先キニアリコトモアリマス、鹿兒島區裁判所、或ハ地方裁判所ノ決定ヲ——其告知ヲ北海道受ケルコトモアルデセウ其場合ニ猶豫ヲ與ヘズシテ、三日ノ間ニ抗告ノ權能ヲ使用スルコトガ出來ル、抗告ハ原裁判所ニ出ス、裁判所ガ適當ト認メテ、三日ナラ三日ノ間ニ郵便デ送達スル、郵便デ告知スル、鹿兒島受ケルノデ、鹿兒島ハ抗告シナケレバナラス、斯ウ云フ場合ニハ上訴權ヲ事實上無効ニ歸セシムルト吾々ハ考ヘテ居ル、此法案ノ云爲ニ依ッテ法律ノ精神ヲ探究スルト云フコトニナレバ、頗ル政府委員ノ今迄仰シヤク事ハ、ドウモ法文ニ合ハナイト思ヒマス、又此法理上、實際ノ上カラ言ッテモ、サウ云フ事ハ甚ダ上訴權ヲ全然無視シヤクナ結果ニ陥ルコトニナルノデアリマスガ、非常ニ重要ナ問題デスガ、其點ハ政府委員ニ於テモウ一應御考ノ上デ、確タル御答辯ヲ願ウタラ大變結構デアリマス

○秋山政府委員 告知シタル裁判ニ付テ不服ガアル場合ニ於テハ、告知ヲ受ケテ直ニ其場デ出來ルノデアリマス、其裁判所所在地ニ於テ告知セラレタル裁判ニ付テハ八十二條ニ含マナイト云フコトヲ中上ガタノデアリマス、其他ノ裁判デ裁判ヲ受ケル者ガ、此裁判所ノ所在地ニ居ラナイ場合ニ裁判ガセラレ、ソレデ即時ニ裁判ガセラレ、斯様ナ場合ニハ矢張八十二條ノ猶豫期間ニ入ルモノト解スル

○上島委員 上訴モ包含スルト解釋スルノデスカ

○秋山政府委員 要スルニ裁判ノ告知ヲ受ケル、裁判ニ對スル上訴ハ猶豫期間ナシ、要スルニ八十二條ノ上訴ノ全部ヲ含マナイト云フコトハナクテ、受ケル裁判ガ其裁判所ノ所在地デ告知ヲ受ケベキ裁判デアレバ、之ニ對シテ猶豫期間ヲ與ヘルト云フ必要ハ無いノデアリマス、八十二條ハソレニ適用セラレ趣意デハナイ、隨テ上訴ノ全部トハ云ヘナイト思フ、受ケル所ノ判決ガ、其裁判所所在地デ告訴ヲ受ク

ベキ裁判デアレバ、ソレニ猶豫期間ヲ與ヘル必要ガ無い、斯ウ云フ解釋ニナルト思ヒマス

○上島委員 ドウモ絶對ニ上訴ガ這入ラスト云フコトハドウモ言ヘナイ、併シ是ハ非常ニ重大ナ問題デ、其範圍ガ甚ダドウモ曖昧デスカ、其點ヲ能ク考慮シテ、サウシテ必要ガアレバ、一層之ヲ明確ニスベク考慮シタラ宜カラウト思フ、其事ダケヲ留保シテ置キマス

○横山(勝)委員 一寸承ッテ置キマスガ、告知ヲ受ケル場合ヲ想像シテ伺ヒマスガ、若シ被告ガ判決ノ言渡ノ日ニ缺席シタ場合ハドウデス、——東京控訴院デ、ソレカラ被告ガ小笠原島ニ居ルト云フヤウナ場合ハ、此規定ハ適用ナイノデスカ

○鶴澤委員 此間ノ大體質問ノ際ニ、林政府委員ノ説明ハ矢張サウ云フヤウナ説明ヲシタヤウデアリマス、ソコデ此問題ハ今ノ告知以外ノ例ハ抗告ノ場合トカ、ソレカラ三百二十三條ナドノ問題ニナルノデアリナカト思フ、矢張私ハ上告ノ十五日以前ト云フモノヲ考ヘル中ニハ這入ルト思フ、是ハ留保シテ置イテ、此次ニ明白ノ答辯ヲ求メルコトニ致シマス

○秋山政府委員 承知致シマシタ、八十二條ハ本案ノドノ條文ニ當ルカト云フコトデスカ

○鶴澤委員 長 サウデス、第九章被告人ノ召喚、勾引及勾留、第八十三條——是ハ異議ハ無いデセウ、第八十四條

○横山(勝)委員 是ハ法文自體ハ能ク分ッテ居リマスガ、實際ノ取扱ニ關係シテ伺ヒ置キタイノハ、八十四條ノ第三項ニ「受訴裁判所ニ近接スル監獄ニ在ル被告人ニ對シテハ監獄官吏ニ通知シテ之ヲ召喚スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被告人監獄官吏ヨリ通知ヲ受ケタル時ヲ以テ召喚狀ノ送達アリタルモノト看做ス」斯ウ云フ規定ガアリマスガ、監獄官吏ニ通知シテ召喚スルト云フノハ、他ノ場合ニモ之ニ似寄ッテ規定ガアルト思ヒマスガ、召喚ヲ受ケルコトニ付テハ、被告人ハ多少準備ノ要ルコトハ無論デアリマスガ、監獄官吏ニ通知シテ、監獄吏ガ直ニ被告人ニ傳達スレバ、被告人ハ相當猶豫ガアリ、相當ノ機會ヲ與ヘラル、ト思ヒマスガ、監獄吏ニ通知シタダケデ、監獄吏カラ被告ニ傳達スル方法ヲ明記シテ置カナカッタナラ、監獄署ノ官吏ハ其召喚ノ當日ニ、被告人ヲ裁判所ニ運送シサヘスレバソレデ宜イコトニナッテ居ル、被告人ハ出シ拔ケニ其日ニナッテ、初メテ召喚ノ通知ヲ受ケル結果ニナリハセヌカト思ヒマスガ、サウ云フ條文ニナリマスカ

○秋山政府委員 無論召喚狀ハ、被告人ガ出頭スルマデノ間ニ準備ヲ要スルモノデアリカラ、監獄吏ニ通知シテ、監獄官吏ハ直ニ被告ニ通知スルモノト見タ規定デアリマス

○横山(勝)委員 ソレガ從來ノ經驗デハ、東京地方裁判所ノ一審ノ事件ハ、公判ノ當日デナケレバ知ラレナイ、併シ控訴院以上ハ前以テ公判期日ハ知レテ居ル、ドウ云フ關係カラ其様ナ事ガ起クカ知リマセヌガ、サウ云フ場合モアリマスカラ、監獄吏ハ直ニ被告ニ通知スルコトヲ要スル意味ヲ明記シテ置カスト、被告ガ非常ニ不利益ニ陥ルヤウナ場合ガアルト思ヒマス、其様ナ不利益ガアッテモ、ソレヲ救済スベキ途ガ無いノデス、呼出シテ其召喚ヲ受ケル日ニ持ッテ來テ、今カラ裁判所ヘ行クノダト言ハレテハ、甚ダ當惑スル結果ヲ生ジハセヌカト思ヒマスガ、ソレニ關スル法律ハ要リマセヌカ

○秋山政府委員 御尋ノ御趣意ノヤウナ結果ヲ生ズル致シマスレバ、仰セノ通りノ不都合ヲ生ズルノデアリマス、併シ是ハ監獄吏ノ職務執行上ニ付テ、十分之ヲ督勵致シテ正確ニ行ヒサヘスレバ、弊害ノ無い事柄デアリマス、又常ニ督勵シテ左様ニ致サセル考デアリマス

○横山(勝)委員 斯様ナ場合ニハ、監獄官吏ガ被告ニ代ッテ呼出狀ヲ受ケルコト云フコトニシタ方ガ、立法ノ原則ニ照シテ適當ト思ヒマス、召喚ヲ受ケル場合ニ限ッテ監獄吏ニ通知シテ、被告ニ直接通知セヌト云フコトハ、被告ノ人權ヲ擁護スル所以デハナイト思ヒマス、普通ノ場合ハ在監入トシテ被告人ニ通知シテ呼出スノデアリガ、特ニ本條ノ場合ニ限リ監獄官吏ニ通知シテ被告人ニ通知シナイノハ、何カ特殊ノ必要トカ、他ニ便宜デモアルノデアリマスカ

○秋山政府委員 在監ニ對スル通知ハ、監獄官吏ヲ通ジテ致スヨリ外ニ方法ハ無いノデ、ソコデ監獄官吏ニ通知シタ時期——其時期ガ一番何時通知シタカト云フコトヲ立證シ易イノデアリマスカラ、ソレデ送達ヲ受ケタル時期ト法律ハ看做シタノデアリマス

○横山(勝)委員 サウ致シマスト、此八十四條第三項ノ監獄吏ニ對スル通知ト云フノハ、ドウ云フ形式ニ依ッテヤリマスカ

○秋山政府委員 是ハ只今致シテ居ル事ト、別段變々方法ニ依ルモノデアリマセヌ

○横山(勝)委員 其送達ニ關シテハ何カ原則デモアリマスカ、送達スベキ書類通知ノ方法ニ關シテハ、法律ノ案文デハ能ク分リマセヌガ、或ハ電話デモ宜イ、端書デモ宜イト云フノデスカ

○秋山政府委員 必ズ第一號ノ召喚狀ヲ發シテ、之ヲ爲サズデモ宜イト云フ趣意ニ解スルノデアリマス、或ハ電話デモ宜イト思ヒマス、只今ノ遺方ハ呼出簿ナルモノヲ備ヘテ置キマシテ、其呼出簿ニ依ッテ氏名ヲ記載シテ之ヲ監獄ニ送り、監獄デハ之ニ本人ニ通知スルト云フ形式ヲ執ッテ居リマ

ス、要スルニ監獄官吏ノ通知ニ依ッテ、ソレヲ召喚トスルト云フ法律ノ趣意デアリマス

○横山(勝)委員 此八十四條第三項ノ場合ハ、現ニ召喚セラル、事件ニ付テ、被告人ガ監獄ニ拘禁セラレテ居ル場合デアリマスカ、或ハ他ノ被告事件デ拘禁セラレテ居ル場合モ含ミマスカ

○秋山政府委員 被告人トシテ召喚スル趣意ノ規定デアリマス。其事件ノ被告人ガ他ノ事件ニ付テ、被告人トシテ裁判所ニ現ル場合ノ規定ト解シテ居リマス

○横山(勝)委員 サウスルト其半面ノ解釋カラ、甲ノ豫審判事ガ乙ノ被告事件ニ付テ、監獄ニ勾留シテ居ルト云フ場合ニ、他ノ豫審判事ガ、他ノ事件ニ付テ、監獄署ニ在ル人ヲ召喚スル場合トハ違ヒマスカ

○秋山政府委員 御解釋ノ通りデアリマス

○横山(勝)委員 第八十五條ニ、召喚ニ依ッテ出頭シタル被告ハ、速ニ之ヲ訊問スルト云フコトニナツテ居リマスガ、此速ニト云フノハドウ云フ事デアリマスカ

○秋山政府委員 是ハ一寸申上ゲヤウガ無いノデアリマスガ、要スルニ文字通り猶豫セズト云フ意味デアリマス

○横山(勝)委員 別ニ法律上ノ制裁制限ハ無いノデスカ、何時間ニ調ベルト云フヤウニ……

○秋山政府委員 本條ハ全ク訓示ノ規定デアリマス、制裁ハアリマセヌ、又時間ノ制限モ無いノデアリマス

○横山(勝)委員 是ハ裁判所ノ規定デアリマスカラ、餘リ多クノ差支ハ無いカモ知レマセヌ、殊ニ既ニ公訴ヲ受ケテ居ル場合ノ、八十三條以下ヲ承ケテ來テ居ル規定デアリマスカラ……併ナガラ實際ニ於テ、警視廳等デハ朝呼出シテ置イテ、晩マデ待タスヤウナコトガアリマス、檢事局等ニ於テモ人ヲ呼出シテ、五時間モ、十時間モ待タセル例ガアル、併シソレハ事務ノ繁閑ニ依ッテ、劃一ノ時間ヲ制限スル譯ニハ行キマスマイト思ヒマスガ、併ナガラ既ニ猶豫セズ取調ベルト云フ規定ヲ置イタ以上ハ、何トカ明カナル時間ノ制限デモナイト、召喚狀ニ接シテ倉皇トシテ出頭シタル人民ガ晝飯モ食ハズ、夕飯モ食ハズニ、夜遅クマデ居ルト云フ結果モ無いハ限リマセヌ、從來ノ例カラ言フト、被告人ガ容易ニ犯罪事實ヲ自白セヌ場合ニハ、檢事局ノ取扱振トシテ、五日モ六日モ續イテ召喚シタル例モアリマス、東京區裁判所ハ、今デハ軒下ニ塀ノヤウナモノガ出來テ、人間ノ居ル場所ガ出來テ居ルガ、以前ハ塀ガ無い、其所ヘ百人モ二百人モ人ヲ呼出シテ炎天ノ際ニ木ノ根ニ腰掛ケタリ、軒下ノ土臺石ニ腰ヲ掛ケタリスルヤウナコトヲシテ、毎日々々呼出サレタ例ガアリマス、今日モ晩マデ、明日モ晩マデ、明

後日モ晩マデト云フヤウナ例ヲ私ハ二件持ッテ居ル、本所ノ洋傘ヲ製造スル人間デスガ、檢事局ヘ四五日連日呼出サレタ結局病氣ニナツタ、何時モ晝飯ヲ食ハズ、モウ晝ダト思ッテモ、今呼出ガアルカモ分ラヌト云フノ例、一時二時ニナリ晩マデ待タサレタ末ニ、又明日來イト言ハレ、モウ一ツハ羽田ノ漁夫ニ關スル事件デアリマスガ、水上署カラ東京區裁判所ニ廻サレタ窃盜被告事件、是モ連日呼出サレタ、十二月ノ寒イ忙シイ時期ニ……ソレデ私ハ檢事ニ交渉ヲシテサウ毎日々々朝カラ晩マデ待タセルト云フコトハ、全く不當デアルト云フコトデ、漸ク解決シタコトガアリマス、今頃ノ檢事局ハ裁判所デハ、サウ云フ事ハゴザイマスマイガ、速ニ調ベルト云フデモ、一時間デ調ベルトモ速ニ調ベルト云フ中ニ入ル、二時間デ調ベルトモモサウデアアル、サウスルト地方裁判所デモ、被告人ノ待ツ所ハ洵ニ不完全ナモノデアアル、是ハ寒暑ヲ通ジテ呼出ニ應ジタ被告人ヤ證人等ノ迷惑スル事デアアル、是ハ裁判所ガ惡意ヲ以テシタ場合ノミデハアリマセヌ、惡意ヲ以テスルコトハアリマセヌデセウガ、事務ノ都合上サウナルコトモアラウト思ヒマス、ソコデ單ニ速ニヤレト云フコトダケデハ、召喚ニ應ジタル被告人ノ利益ヲ保護スルニ、甚ダ不安デアアルト考ヘテ居リマス、ソレデアリマスカラ、他ノ場合ノ用例ニ倣ッテ、其日ノ中ニ調ベルトカ或ハ三時間ナリ五時間ナリノ中ニ調ベルト云フヤウニ、何トカ制限ヲ設ケナケレバ「速ニト云フ趣旨ヲ貫徹スルコトガ困難ト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○秋山政府委員 召喚ニ依ッテ裁判所ヘ出頭シタル者ハ、被告人或ハ關係人等ヲ問ハズ、隨分長イ時間ヲ空シク待タサレテ、迷惑ヲシタルコトハ屢々、私共ノ間ク非難デアリマス、司法官惡ト致シマシテハ、非常ニ注意シナケレバナラナイ事柄デアリマシテ、僅力其等ノ事ノ爲ニ、國民ガ裁判所ト云フモノヲ一種ノ厭フベキモノト感ズルヤウニナル、ソレガ強イ原因ヲ成シテ居ルヤウニ思フノデアリマシテ、銳意其點ノ改善ヲ圖ッテ居ル次第デアリマス、自白シナイカラ連續シテ何日モ喚ブト云フヤウナコトハ、全く有り得ベカラザル事デアリマシテ、左様ナ場合デナクテモ、實際事務ノ都合上空シク歸スト云フコトモ、實際已ムラ得ズ生ズルコトガアルノデアリマス、只今横山君カラ仰セラレタ晝飯モ食ハズニ待ッテ居ラタト云フコトハ、東京區裁判所ガ建築ガ不完全、手ガ不十分ナ時、最後ノ時代ニ私ハ自分ノ經驗トシテ、區裁判所ノ檢事局ニ在勤シテ居ラタ關係上、之ヲ目撃シタクノデアリマス、確ニ此間ニハ幾多ノ弊害ガ生ジタモノト思フノデアリマス、隨分其點ニハ意ヲ用キマシテ、遂ニ呼出人係ノ書記一人ヲ定メマシテ、其喚出人係ノ書記ハ呼出人ノ中ニ居レ、サウシテ喚出人ノ訴ヘル所ヲ聞イテ、長イ時間

待ッテ居ルト云フヤウナ者ガアツタナラバ、ソレヲ記載シテ各檢事ノ手許ヘ差出シ、各檢事ハ其書面ヲ見タナラバ、直ニ之ニ對シテ相當ノ處理ヲ執ル、午前中呼出シタル者ノ取調ガ午後ニナルコトガ明ニナツタナラバ、直ニ其事ヲ呼出人ニ知ラシメヨ、サウシテ自由ニ食事ノ時間ヲ擇バヤウニサセナケレバナラナイト、可ナリ細カイ點マデ色々ノ注意ヲ致シマシテヤテ居ラタノデアリマスガ、尙ホ不平ノ聲ヲ聞イタクヤウデアリマス、ソレハ非常ニ澤山ニ裁判所ノ手ヲ煩シマシテ、一日ニ定メタル人間ハ必ず調ベルト云フヤウニデモ致セバ宜イカモ知レマセヌガ、今日ノ手ヲ以テ今日ノ事件ヲ處理スル上ニ於テ、ドウシテモ一日ニ是丈ノ人間ヲ調ベルト云フ豫定ヲシテ呼出ス、其呼出人ノ中ニ來ナイ者ガアレバ、手ヲ空シクシテ時間ヲ空シクシマス、ソコデ豫備ニ呼出ストソレガ案外全部來テ、殊ニ事柄ガ紛糾シテ、全部ノ呼出人ヲ調ベ切レナカッタト云フヤウナ事ガアリマシテ、實際之ヲ完全ニヤルニハ種々ノ困難ガアリマス、唯タ法律ト致シマシテハ、其日ノ中ニ調ベヨトカ「速ニ訊問スヘシト云フ中ニハ、其日ノ中ニ調ベヨト云フコトヲ含ンデ居ルノハ勿論デアリマスガ、法律ノ中ニ其日ノ中ニ調ベヨト書クノモ如何デアリマスルシ、是ハ二時間内、或ハ三時間内ト盡一ニスルコトモ運用上ニ困リマスカラ、法律トシテハ速ニ訊問セヨト云フニ止メマシタ、併シ手ガ明イテ居ルニ拘ラズ、又被告人ガ出頭シテ居ルニ拘ラズ、調ベナカッタト云フコトニナリマスレバ、是ハ職務ヲ缺イタモノデアリマシテ、職務上ノ責任ヲ負フベキモノト考ヘマス、要スルニ法律トシテハ、即時ニ訊問セヨ、職務取扱上出來ルタケ速ニ訊問セヨト云フ程度ニ止メル外、方法ハ無カララウト思ヒマス

○黒住委員 此法文ニ直接關係アリマセヌガ、横山君ノ御問ニ牽聯シテ居リマスカラ、本省ノ方針ナルモノヲ伺ヒマス、檢事ヤ豫審判事ニ呼出サシタ被告人、又ハ證人、參考人ガ連日呼出サレテ、空シク歸ル事ハ屢々、目撃シテ居リマス、是ハ色々事務ノ都合モアル事デアリマセウ、故意ニ空シク歸スノデアリマスマイガ、判事檢事ノ不足等色々ノ原因ガアリマセウガ、唯タ遺憾ニ思フ點ハ、紋切型ニ午前九時檢事局ニ出頭スヘシト致シマシテ、ドウ呼出モサウナツテ居ル、近頃民事ニ於キマシテ、注意深キ裁判所長ハ午前午後ニ別ケテ呼出スコトガアリマスガ、檢事局ト豫審ハ矢張紋切型デ呼出シマス、ソコデ私共ハ辯護士會長ヲシテ居ル時ニ、非常ニ不平ノ人民カラ受ケマシタ、ソレハ被告人ハ勿論デアリマスガ、他ノ訴訟關係デアリマシテモ、實ハ飯ヲ食ヒニ行ク暇ガ無い、今呼出サレルカ今呼出サレルカト云フ不安ノ裡ニ待受ケテ飯ヲ食ハズニ居ル、サウシテ後今日ハ駄目、

明日來イト云フ譯テ追跡サレ、ソコデ私ノ御問セントスルノハ是カラデアリマス、北海道ハ御承知ノ通り各季ニナリマス、内地テ想像スルヤウナモノデナイ、此寒サニ座蒲團ヲ以前ハ茶番ガ貸シテ居リマシタガ、ソレヲ控訴院長ガ忌避シマシタ、此不平等ハ非常デアリマス、此控訴院長ハ柿原君デアリマスガ、私ハ辯護士會長トシテ談判ヲ致シマシタ、ドウ云フ譯デサウ云フ事ヲスルカト聽キマス、院長ハドウモ座蒲團ノ賃銀ト云フモノヲ一定シナイ、客ノ顔ヲ見テ餘計取ツリスルカラ、取締上忌避シタノダト云フ一片ノ挨拶デ、座蒲團ヲ老人病者ガ參リマシテモ、絕對ニ貸サセナイ、私ハソレハドウモアタ方ノ御希望ナサル、一定シタ賃銀デ貸借ヲシナイノハ弊害ハアリマセウガ、賃銀ニ拘ラズ、老人病者ハ之ヲ借りタイト言フ、是ハ言フマデモナイ話デア、故ニ斯ウ云フ事ハ自由ニヤラセテハドウデス、人民控訴所アルノ「民衆控訴所」書直シテモ、檢事局ト豫審ノ區別ナク、一體裁判所ト云フモノガ、人民ノ怨府ニナルデアリマセウト云フコトガアリマスガ、此議ハ容レラレナカ、最近札幌ニ移轉シマシタガ、ドウ云フコトニナッテ居リマスカ知リマセウガ、斯ウ云フ事ニ付テ本當ハ各裁判所長ノ適宜ニヤルコトニ一任ナサッテ居ルノデアリマス、或ハ人民ノ權利ヲ尊重スル爲ニ、相當行届イタル訓示ヲ出サレテ居ルノデアリマス、此機會ニ於テ一寸伺ヒマス。

○秋山政府委員 裁判所ニ出頭スル者ノ中ニハ、被告人モアリマセウ、無論被告人ダカラ、不都合ナ取扱ヲシテモ宜シイト云フ次第デアリマセウガ、兎ニ角事件ニハ何ノ關係モ無イ者モアルノデアリシテ、裁判所ニ出頭シタル者ニ對シテ成べく便宜ノ處置ヲ執レト云フ事ハ、本省ト致シテハ常ニ執ッテ居ル方針デアリマス、特ニ是等ノ事ハ文書上之ヲ訓示シテ、座蒲團ヲドウセヨ、煙草盆ヲ出サセヨ、辨當ハ云々トシテ云フ事迄ハ、本省ハ細ク訓示シタ例ハアリマセウガ、大體ニ於テ必要ノ無イ苦痛ヲ感ゼシムルコトハ、避ケナケレバナラヌト云フコトハ、絶エズ訓示シテ居ル所デアリマス、ドウ云フ趣意カラ柿原院長ガ座蒲團ノ禁止ヲ致シタカ存ジマセウガ、北海道ノヤウナ寒イ所ニ於テ唯テ賃銀ガドウデアルト云フコトノ爲ニ絕對ニ之ヲ禁止スルト云フヤウナコトハ、本省ノ執ッテ居ル方針トハ一致シテ居ラナカッタコトト考ヘマス、若シ其賃銀等ガ高ケレバ、相當取締ノ方法モアリマセウカラ、全然之ヲ無クナシテ人民ガ出頭シテ暖ヲ取ラウトシテモ、今迄借リ得タモノヲ借りラレナクナッテシマッタト云フヤウナ狀態ヲ作出シタコトハ、本省ノ執ッテ居ル方針トハ全ク違ッテ居ルト申シテ宜シイノデアリマス、斯様ナ細カイ事柄デアリマシテ、ソレガ積リ積リテ實際裁判所ト國民トノ乖離ヲ調和スルト云フコトハ、在朝在野ノ

法曹ノ悉ク一致シテ之ニ努メナケレバナラヌ所デアリマス、御心付ノ際ニハ當局ニ申出デ、御注意ヲ戴キ、疏通ガ圖レナイ場合ニハ、本省ハ御申出ヲ願フデ、之ヲ改メシムル方針ヲ執ル、斯様ナ方針進シテ戴キタイト云フ希望ヲ當局トシテハ有シテ居ル、次第デアリマス。

○黒住委員 今申シタ通り交渉シテモ中々禁ヲ解カヌ様ナ有様デアリマスガ、一體司法大臣ノ訓示モ、總長ノ訓示モ、最近ハ大分人民ニ對シテ温情アル御訓示ガアッテ、人權尊重ノ趣旨モ能ク看取シ得ラル、ノデアリマスガ、其實ヲ舉ゲルト云フコトニ付テ、本省ハ如何ナル方針ヲ執ラレテ居ルカ、本省ニ各長官ヲ集メテ、一場ノ演説ヲ爲サレ、訓示ヲ爲サツキリデ、後ハ野トナレトナレト云フコトデハ役ニ立タヌ、各長官ハソレノ個性ガ違フノデアリマス、私共遺憾ニ思フノハ、時々司法大臣其他本省カラ視察ニ御出ニナリマスガ、今ノヤウナ事ハ人民控訴所ヲ御覽ニナレバ直グ分ルノデアリマス、然ルニ從來ノ司法當局ノ御視察ハ、一向サウ云フ所ハ御覽ニナラナイ、辯護士ノ控訴ニ御出ニナツタコトモ、私ハ殆ド二十年近ク辯護士ヲシテ居リマス、曾テ知ラナイ位デア、斯ウ云フコトニ對シテハ目頭ニ申シマシタヤウニ、司法省ノ任務ヲ帯ビテ御出張ナサル人ハ、單ニ訴訟事件トカ、形ヲ方カラバカリ視察サレ、裁判所ノ方デハ長官ガ來ルコト云フノ準備ヲシテ居ル、其物ダケヲ視テ、前來私カ遺憾ナ點ヲ申上ゲル方面ニ向ッテ、視察ヲ爲サルト云フコトハ甚ダ不徹底デアリ、又訓示ノ趣旨ヲ衰切ッテハ居ナイカ、斯様ニ考ヘマスルガ、其點ハドウデアリマス。

○秋山政府委員 如何ニモ御尤ナ次第デアリマスガ、大體本省ガ地方ノ巡視ヲ對シマスルダケノ手ガ十分アリマセウ、期日ナドガ十分デアリマセウ、巡視スルニ方リマシテモ、期日ナドガ十分デアリマセウ、隨分不徹底ナ點モアルコトト思ヒマス、本省ノ考トシテハ、出張致シマシテ、單ニ民刑ノ事件ダケヲ見ルト云フヤウナ趣意デハナイノデアリマス、無論地方ノ民情モ見ナケレバナリマセウ、裁判所在勤ノ人物如何、土地ノ在野ノ法曹ノ地方ノ改善ニ協力スル工合ガドウデアルカ、訴訟ノ關係人ニ對スル取扱ハドウ云フ風ニナッテ居ルカ、等ノ諸般ノ點ニ注意スルコトハ、出張ニ際シマシテ大臣カラ出張員ニ命ジマシテ、又命ゼラレナクテモ分、テ居ル事柄マデモ命ジマシテ、出張ヲ致サセル、サウシテ歸リマスレバ、是ガ報告ヲ徵シマシテ、ソレノソレニ對スル處置ヲ執ルト云フ様ニ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ其趣意ガ完全ニ徹底セヌト云フコトハ、頗ル人ニ依ッテ無論不足ナ所デアリマス、唯タ併ナガラ趣旨ハ決シテ裁判所ノ内部ノ事件ダケヲ見テ來レバ宜イト云フ譯デアリマセウノデアリマス、徹底セヌ點

ハ飽マデ改メマシテ、趣意ノ徹底ヲ期シテ居ル次第デアリマス、隨テ斯ウ云フ點ニ注意セヨ、斯ウ云フ點ヲ見テ歸レト云フヤウナコトニ付キマシテモ、出張ノ都度矢張在野法曹ト相會スル機ガアルノデアリマス、腹藏ナク御注意ヲ戴キマシテ、成べく此趣意ノ徹底スルコトヲ希望スル次第デアリマス。

○黒住委員 私人ハ徒ニ攻撃スルノデアリマセウ、此法律案ノ委員會デ、秋山政府委員ト私トノ間ニ一問答ガアッタト云フ止メズシテ、國民ノ聲トシテ、司法當局ハ左様ナ方針デ實際ニオヤリニナルコトヲ切ニ希望シテ置キマス。

○秋山政府委員 謹シテ拜聴致シテ置キマス。

○横山(勝)委員 只今ノ八十五條ノ二項ニ付テ、一寸御尋致シマス、被告人ガ裁判所構内ニ居タ時分ニハ召喚ノ手續ヲシナイデ訊問スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマス、此構内ニ居ルトキト云フノハ、其事件ニ關シテ呼出シ、其他ノ方法デ出頭シテ居タ場合ハ無論宜シイト思ヒマスガ、例ヘテ見レバ訊問ヲ受クル事件ニ何等ノ關係ノ無イ場合、即チ他ノ事件ノ傍聽ニ付テ、裁判所ノ法廷ニ在ルトカ、或ハ控所デ辨當ヲ使ッテ居ルトカト云フヤウナ場合デモ、直ニ捉マヘテ來テ訊問スル、斯ウ云フコトガ出來ル規定デアリマス。

○林政府委員 是ハ捉マヘルト云フコトハ少シモアリマセウ、要スルニ被告人ヲ訊問スル場合ニハ、召喚スルコトガ原則ニナッテ居ルノデアリマス、裁判所ノ構内ニ現ニ居ル、斯ウ云フ場合ニハ態々召喚狀ヲ出ス必要ハ無イカラ、唯タソレダケノ事ヲ明ニシタニ過ギナイノデアリマス。

○鶴澤委員 第八十六條、第八十七條ヲ一緒ニ議題ニ供シマス。

○横山(勝)委員 八十六條ニ付テ御尋シマスガ、八十六條ハ召喚ヲ受ケタル被告ガ單ニ期日ニ出頭セザル故ヲ以テ、更ニ召喚シ、又ハ之ヲ勾引スルコトヲ得ナッテ居リマス、ケレドモ、惡意ヲ以テ出頭セヌ者ハ、此制裁ニ服スルコトハ毫モ差支アリマセウガ、例ヘテ見レバ正當ノ理由ガアッテ出頭スルコトガ出來ナイ場合、而モ其出頭スルコトノ出來ナイヤウナ場合ハ、多クハ一家ノ内ニ不幸ガアツタカ、其他臨事多忙ノ事實ガ出來シタノデアルカラ、之ヲ裁判所ニ通告スルト云フ手續ヲ執ルコトモ出來ナイ場合、サウ云フ場合ハ全ク私ハ出頭セヌカラト云フ直ニ裁判所ガ勾引スルコト云フコトハ甚ダ酷デアルト思ヒマスガ、サウ云フヤウナ場合デモ矢張之ヲ利用スル意味デアリマス、サカドウカ、ソレカラ其次ニハ本來勾引モ留モスルコトヲ要シナイ、罰金トカ料料ニ關スル事件、斯ウ云フヤウナ事件デモ此規定ノ適用ガ出來ルノデアリマス、此二ツノ事項ニ付テ御尋シタ

○林政府委員 第一ノ御尋ニ付キマシテハ、法文ニハ單ニ召喚シ、又ハ勾引スルコトヲ得、アリマシテ、何等制限ノ規定ガ無イノデアリマス、併ナガラ今御尋ノヤウナ場合ニ、直ニ勾引スルコト云フコトハ、實際上アルマイト思ヒマス、勾引コト云フコトハ公力ヲ用ナケレバ、被告人ヲ出頭セシムルコトガ出来ナイト云フ場合ニスルモノナルコトハ、法律ノ精神ノ上カラ疑ナシ、無論已ムラ得ヌ場合ニ起ル意味デア、出テ來ヌカラ直勾引スルコト云フコトハ、是ハ有リ得ベカラザル事ト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ點ハ禁錮以上ノ刑ト云フコトニ制限ハ無イ、隨テ罰金以下ノ刑ニ當ル場合ニモ適用ガアルコトニナリマス、現行法モ豫審ニ於テハ同ジヤウナ事ニナリテ居リマス、矢張出テ來テ貰フテ辯解ヲ聽クト云フコトガ、罰金以下ノ刑ニ當ル者ニモ必要デア、ソレデ其區別ヲ此所ニハシマセヌ

○橫山(勝)委員 八十六條ハソレデ宜シウゴザイマス、八十七條ハ是ハ先ニ質問シテ居リマスカラ止メマス

○鶴澤委員長 第八十八條——第八十九條——第九十條——第九十一條——第九十二條

○橫山(金)委員 此九十二條ハ先ニ一度ゴザイマシテ、注意規定デア、訓令規定デアルト云フコトデアリマスガ、條文ノ趣意ハ能ク分テ居リマスガ、九十二條デモ、百四十四條デモ、餘リニ能ク分テ道理ガ闡明セラレテ居ルノデアリマス、裁判ヲ爲サル御方、起訴ヲ爲サル檢察、其他ノ人ノ注意規定トシテハ、殆ド吾々ノ考カラシマス、行過ナテ居ル位ニ徹底ノ二行居イタ條文デアリマス、而シテ是ハ確ニ此刑事訴訟ノ人權尊重ト云フ意味ヲ、一層公ニスルコト云フ意味ニ於テ置カレタモノデゴザイマスカラ、良イ規定デアルト思ヒマスガ、先日御尋ヲ致シマシタ如ク、此場合ニ私ハ此條文ニ牽連シテ、訓令若クハ注意規定デアルト思ハレ、現行刑事訴訟法ノ事ヲ御尋致シマス、被告人ガ無罪ノ言渡ヲ受ケマシタ時分ニハ、判事、檢察、裁判所書記、其他ニ對シテ要償ノ訴ヲ爲スコトヲ得、但シ故意ノ場合ハ此限ニ在ラスト云フ規定ガアルノデアリマス、本案ニ至ッテハ現行刑事訴訟法ノ十三條ト共ニ其影ヲ絶タレタ、現行刑事訴訟法ノ第十三條ハ、民法ノ不法行為ニ關ルコト云フ御答ヲ得テ満足シタノデアリマス、獨リ十四條ノ規定ニ至リマシテハ、此規定ヲ省クト、現行ノ民法ノ不法行為ノ本則ニ依リマシテ、或ハ判事、檢察、其他ノ人々ハ、其職務上ノ事ニ關シテモ、不法行為ノ原則ニ依ッテ訴ヲ受ケハシナイカト云フ疑ガ起ルノデアリマス、例ヘバ判事ニ致シマシテモ、不羈獨立ノ檢察ニ於テモ、安心ヲシテ、躊躇逡巡セズシテ職務ヲ執行スルト云フ上ニ於テハ、少クトモ現行刑事訴訟法十四條ノ如キ規定ハ、或ハ尙且ツ必要ニハアラズヤト云フ觀念ガ起

ルノデアリマス、其點ニ對シテ御所見ヲ承リマス

○林政府委員 其點ハ前回下タカニ御答ヲシタノデアリマスガ、刑事訴訟手續ニ關シテ官吏ハ、賠償ノ責任ヲ負フカドウカト云フコトハ純粹ノ民事關係デアリマシテ、サウシテ其純粹ノ民事關係ノ問題ヲ刑事裁判所ニ於テ、刑事訴訟手續ニ依ッテ審判スル必要ガアルカト云フト、ソレハ全ク無イ、私訴ノ方ハ公訴ノ審理ト聯絡シテ調ベルト云フ非常ニ便宜ガアル、併ナガラ今御尋ノヤウナ場合ハ、事件ガ濟ンデソレカラ逆ニ訴ガ起ル場合デアリマスカラ、要スルニ參考ニスルコト云フナラバ、前ノ事件ノ記録ヲ參考ニスルダケデアリマス、引續イテ審判ヲシテ行ク譯ニハ行カナシ、全ク別ノ手續ニスルノデアリマスカラ、之ヲ刑事訴訟法ノ中ニ入レルト云フコトガ、ドウモ筋道モ適當デナイ、實際上何等意味ガ無イ、ソレデ全然是ハ民事關係デアルカラ、刑事訴訟法ノ方カラ除クコトニナリマシタ、唯タ御尋ノ民事關係トシテドウカト云フコトハ、是ハ餘程ムヅカシイ問題ノヤウデアリマシテ、官吏ノ職務上ノ行為ニ付テ、不法行為ノ原則ガドコマデ行カ、私一個ノ意見ハアリマスガ、全ク刑事訴訟ニ關係ガ無イカラ責任ヲ持テ御答スルコトモ出来ヌ、又必要モ無イノデアリマス、サウ云フ次第デ民事關係ニ關テテ省イタ、是ダケノ趣意デアリマス

○橫山(勝)委員 サウ致シマス、司法當局ト致シマシテハ、此後ニ於テ現行民法ノ改廢ヲ爲サルコト云フ御考ハアルノデアリマス

○林政府委員 民法ノ改廢ト云フコトニナルカドウカハ別問題デアリマスガ、被告人ガ無罪又ハ免訴ノ判決ヲ受ケタヤウナ場合ニ、之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ル方ガ宜イカト云フコトハ、司法當局ニ於テ多年研究ヲ致シテ居リマス、其問題ト牽連シテ、只今御尋ノ問題モ解決セラル、時機ガ將來アラウ思ヒマス

○橫山(勝)委員 九十二條ニ付テ御尋シマス、被告人ヲ勾留シタル場合ニ於テ、其身體名譽ヲ保全スル事ニ注意セヨ——洵ニ結構ナ規定デアリマスガ、此文章自體カラ御質問申上ゲタイノハ、勾留シタル場合ニサウ云フヤウナ注意ヲスルニ拘ラズ、勾留セザル場合ハドウスル、被告人ヲ召喚シ、若クハ起訴シタガ、マダ勾留ハシナイト云フ時分デモ、斯ウ云必要ハアラウト思フ、ソレヲ勾留シタル場合ニ限ッテ勾留セザル場合ニ身體名譽ノ保全ニ注意ヲ與ヘルノハドウ云フノカ

○林政府委員 被告人ハマダ單ニ嫌疑ヲ受ケテ居ルニ過ギヌノデアリマスカラ、無論有ユル方面ニ於テ、被告人ノ迷惑ニナラヌヤウニ致スベキコトハ當然ノ事デアリマシテ、特ニ明文ヲ要セヌ次第デアリマスガ、勾留セラレタル場合ニ付キマシテ、從來色々ノ議論モアリ、問題モアリマシタ、デ實際

取扱上ニ付テ問題モ起リ、隨テ法文ニ之ヲ明ニスル必要ガアリマスノハ、勾留シタル場合ニ關係スル、ソレデ特ニ勾留シタル場合ニ關シテ法文ヲ設ケタ次第デアリマス、勾留セヌ場合ニ於テハ、名譽ノ保全ハ構ハヌト云フヤウナ趣意デナイコトハ、搜查ハ秘密デアルト云フコトニ依ッテモ明ニナッテ居リマス、書類モ之ヲ公ニシテハイカヌト云フ規定モアリマス、其趣意デ出來テ居リマス

○橫山(勝)委員 私ハ勾留シタル場合ニ斯クノ如キ規定ガ必要デアルナラバ、勾留セザル場合ニ於テハ、尙更必要デアラウト思ヒマス、現ニ今回ノ市ノ疑獄、或ハ所謂滿鐵事件ノ如キ、被告人ヲ勾留セザル場合ニ當ッテ、如何ニ裁判官ガ細心ノ注意ヲ拂ハレタカト云フコトハ能ク御諒承ト思ヒマス、現ニ勾留セザル關係人、勾留セザル被告人ニ對シテ、夜間調ベルトカ、或ハ裁判所ノ裏門カラ連レテ來テ調ベルトカ、色々名譽ニ對スル保護セラレテ居ル例ガアル、勾留サレタル場合ニハ、却テ自動車ニ載セテ監獄ニ運ンデシマウカラ必要ガ無イ位デアル、斯ウ云フ規定ヲ設ケル位ナラバ、勾留セザル場合ニハ尙ホ必要ガ有ラウト思ヒマス、併シ必要ガ無イト云フナラバ、議論ニナリマスカラ此點ニ關シテ發言ハ他日ニ讓ル事ニシマシテ、尙ホ其後段ニ於テ「身體及名譽ヲ保全スル事ニ注意スヘシ」トアリマスガ、特ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケル位ナラバ、財産ニ付テハドウデアリマスカ、勾留シテ監獄ニ入レル方法ニシテモ、丁寧深切ニセイトカ、財産ト云フトオカシイガ、貧乏人バカリガ行クノデハナイ、何千何百圓ト持ッテ居ル者モアル、絹ノ著物ヲ著テ居ル者モアリ金時計ヲ持ッテ居ル者モアルカラ、何モ身體名譽バカリデハナイ財産ニ於テモ相當ナ注意ヲ拂テヤラナケレバナラヌ場合モアラウト思フ、特ニ斯ウ云フ規定ヲ置ク場合ニ於テ、身體ト名譽ノミニ限定シタ理由ハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、

○林政府委員 本條ハ身體ト名譽ニ限定スル趣意ハ含ンデ居ラヌノデアリマス、注意規定デアリマスカラ、根本ノ原則精神ヲ現セバソレデ宜シイト考ヘマスノデ、身體名譽ト主ナルモノヲ此處ニ舉ゲマシテ、サウシテ被告人ハ假令嫌疑ハ受ケテ居ルケレドモ、十分迷惑ニナラヌヤウニ注意シナケレバナラヌト云フ、法律ノ精神ガ現レテ居ルノデアリマシテ、身體名譽ニ付テハ注意スルガ、外ノ事ハ注意シナクテモ宜イト云フ制限ノ意味ハナイノデアリマス

○原委員 九十條ノ末項ノ趣意ハドウ云フ趣意デアリマスカ一寸承リタイト思ヒマス

○林政府委員 御尋ノ趣意ガ一寸分リ兼ねマスガ、要スルニ監獄デ例ヘバ既決監ニ居ル、斯ウ云フヤウナ場合ニ取調ノ必要上、未決監ニ置ク方ガ宜シイト云フコトハ、隨分アリマス、サウ云フ場合ニハ、既ニ既決囚トシテ拘束ヲサレテ居

ル人ナシデスカラ、第一項ノ原因ガナクテモ、未決勾留ニ處シテ宜シイ、是ダケノ意味デアリマス

○原委員 此九十二條ノ注意規定ハ、誰ニ注意スル意味ノ規定デアリマセウカ

○林政府委員 之ニ關與スル職員ニ注意スルノデス

○原委員 外ノ條文ニ比較シテ見ルト、隨分其職務ニ當ル人ヲ侮辱シテ規定ノヤウニモ思ハレルノデアリマスガ、斯ウ云フ事ニ注意シナイ職員ガ一體アルト思ハレルノデスカ、私共此條文ヲ見タ時ニ、實ハ此規定ニ驚イタノデスガ、先刻ノ召喚ニ依テ出頭シタ被告人ハ速ニ訊問スル、其速ニト云フコトハ、裁判所デ當然分テ居ルカラ何モ議論ハ無イ、常識デモ分テ居ル、其見地カラ見ルト、是ハ隨分酷イ規定デアルヤウニ思ハレマスガ、斯ウ云フモノヲ設ケラレタ趣意ガ外ト鈞合方取レヌノデスガ、文字其モノ、意味ハ能ク分テ居リマスケレドモ、此處ハ規定シテ置カレタ趣意ガ能ク分ラヌノデスガ……

○林政府委員 法律ノ精神ヲ法文ニ現スト云フコトハ、適當ノ事デアリマシテ、ソレニ關係スル人ニ對スル侮辱ニナルト云フコトハ、當局ノ考及バザル所デアリマス

○鶴澤委員長 一寸此九十二條ノ理由ヲ一ツ讀シテ速記シテ戴キタイト思フ、只今原君御質問ノ趣モ多少是デ明白ニナルト思ヒマス、被告人ノ勾留ハ未タ其ノ罪實定ラサルニ先タ身體ノ自由ヲ拘束スルモノニシテ其ノ目的トサル所ハ逃亡ヲ防キ罪證湮滅ノ虞ナカラシムルニ外ナラス故ニ罪責ノ定メニ至ルマテ清白人ヲ以テ遇シ目的ヲ達成スルニ必要ナル限度ヲ超ヘテ之ニ苦痛ヲ與フルコトアルヘカラス本條此ノ趣旨ニ則リ努メテ被拘禁者ノ身體名譽ノ保全ニ注意スヘキコトヲ訓示ス此ノ事タルヤ事理極メテ明白ナルモ豫斷ノ爲失誤ニ陥リ世上ノ評論ニ動サレテ不當ノ取扱ヲ爲シタルノ例絶無ニ非ス事極メテ緊要ナルヲ以テ特ニ訓示の規定ヲ置キ万一ノ失ナカラシメンコトヲ期ス、是ハ多分或有名ナル事件ニ付テ、世上ノ物議ガ囂然タルコトガアリマシタルデアリマス、サウ云フ點ノ關係ガ重キヲ爲シ、或ハ又從來ハ公訴ヲ起サレ、バ、豫審ニ付セラレルト云フト直ニ被告人ハ有罪デアルカノ如ク世間モ考ヘ、又一部ノ人モモソレヲ考ヘテ居タルガ、此訴訟法ニ於テハ罪實ノ確定スルマデハ、先ヅ無罪ノ人ト云フヤウナ趣旨ニ見ルト云フ、其根本主義ガ認メラレテ、其中ノ一部ガ此規定ニ現レタモノデハナカラウカト思フノデアリマスガ、其通りデセウ

○林政府委員 全ク其通りデアリマス

○横山(勝)委員 原君ノ質問ニ牽聯シテ、九十條ノ末項デアリマスガ、被告人監獄ニ在ルトキハ第一項ノ理由ナシト雖「云々」是ハ是デ宜シイヤウデアリマスガ、既決囚ノ勾留

ト云フコトニナリマス、其刑罰ヲ行テ居リマス其刑期ト云フモノハ、ドウ云フ工合ニナルノデアリマス、唯タ疑ガ起リマスノハ、被告人ハ監獄ニ居テ勿論居所モ分テ居リマス、罪證ヲ湮滅スル虞モ無イ、逃亡ノ虞モ無イ、被告人ノ方ニハ何等過失ガ無イノニ既決ノ刑期ヲ執行中ニ、未決ニ移サレルト云フト、自然ソレダケガ被告人ノ損失ニナリハシナイカ、是ハドウ云フ事ヲ以テ其點ヲ補ハレマス、是ダケヲ承リタイ

○林政府委員 只今ノ點ハ解釋上多少ノ論ガアルカ知リマセウガ、私一個ノ意見トシテハ、未決監ニ移スガ爲ニ、法律上刑ノ執行停止ト云フ原因ヲ爲スモノトハ思ヒマセウ、矢張其期間ハ刑期ニ通算サレルコト、考ヘテ居リマス

○鶴澤委員長 第九十三條——第九十四條

○横山(勝)委員 此九十四條ノ中ノ「檢事又ハ司法警察官ニ被告人ノ勾引ヲ囑託スルコトヲ得」ト云フ規定デアリマス、此九十四條ニ依テ、今申上ゲタ官吏ニ勾引ヲ囑託スト云フコトハ、裁判所ノ側ニ於テハ便利ニ感ゼラル、規定デアリマスガ、併ナガラ屢々申上ゲル通り、人權保護ノ見地ヨリシテ、人民ノ立場カラ申シマスルト、ドウモ檢事司法警察官ガ勾引スルコト云フ事ハ、感情ノ上ニ於テモ甚ダ看過スベカラザルモノデアアル、又實際ニ於テ檢事司法警察官ガ人ヲ勾引スル事實ガアリマス、假令内部ニ於テ裁判長ノ囑託ガアツタ場合ニ於テモ、勾引セラル、者ハ、其事ヲ能ク諒解スルコトガ出來ナイ場合ガ屢々アルト思ヒマス、檢事司法警察官ガ裁判長ノ囑託ヲ受ケタト云フデモ、勾引ヲ受ケル方ノ側デハ其事柄ヲ能ク諒解シナイ場合ハ必ズ人權問題ヲ直ダ起スコトニナルト私ハ思ヒマス、要スルニ是マデ屢々人權蹂躪其他ノ問題ノ起リマシタルハ、吾々ガ信ズル所ニ依リマスレバ、實際人權ヲ蹂躪シタ事實ガアリマス、ケレドモ時トシテハ當該被告人、若クハ被告人ノ周圍ニアル親戚故舊友人等ノ誤解ニ基ク場合モ屢々アル、私ハ司法警察官ガ被告人ヲ勾引スルト云フコトハ、得テ斯ウ云フ疑惑ヲ招ク虞ガアルト思ヒマスガ、此點ヲ一寸御辯明ヲ願ヒタイノデアリス

○林政府委員 此點ハ斯ウ云フ關係ニナッテ居ルノデアリマスカラ申上ゲテ置キマスガ、囑託ニ依テ勾引狀ヲ出ス場合ニ於テハ「囑託ヲ爲シタル裁判長ノ氏名及囑託ニ因リ之ヲ發スル旨ヲ記載スヘシ」ト云フコトガ九十八條ニ規定シテアリマス、サウシテ勾引狀ノ謄本ハ被告人モ請求スル權利ガアル、斯ウ云フコトニナッテ居、リマスドウ云フ關係デ勾引サレルト云フコトハ、勾引サレル者ノ側カラ十分分ル手續ニナッテ居リマス、殊ニ九十四條ノ場合ニ、裁判長ノ方デ勾引ガ必要デアルト認メテサウシテ囑託スル、囑託官吏

ハ囑託ノ趣意ニ基イテ之ヲ行フニ過ギヌノデアリマシテ、何レノ點カラ見テモ、之ニ依テ弊ガアルト云フコトハ考ヘマセヌ

○横山(勝)委員 實例ト申シマスルト、斯ウ云フ場合ハドウシテ起ルノデアリマセウカ、詰リ裁判長ガ勾引サレルト云フコトガ本則デアル以上ハ、何カ斯ウ云フ例外ヲ設ケルト云フコトニナリマスレバ、サウ云フ實際上ノ必要ニ應ズルコトデナクチヤナラヌト思ヒマス、例デ申シマスルト、ドウ云フ場合ガ九十四條ニ該當スルノデアリマスガ

○林政府委員 是ハ色々例ガアラウト思ヒマスガ、一例ヲ申シマスルト、今勾引サレルト云フ人ガ船デ何處カヘ逃ゲテシマウト云フヤウナ事ノアル場合ニ、豫審判事トカ區裁判所判事ト云フモノハ、裁判所ノ所在地ニ居ルカラ、ソレニ囑託シテハ目的ガ達セナイト云フ場合ガアルノデアリマス、併シ司法警察官ハ澤山色々方面ニ居リマスカラ、サウ云フ場合ニ司法警察官ニ囑託シテ勾引スル、斯ウ云フ事ハ實際上必要ガアルノデアリマス、其外サウ云フ必要ナ場合ガ幾ラモアラウト思ヒマス

○横山(勝)委員 サウスルト九十四條ノ二項ニハ「受託官署ハ受託ノ權限アル官署ニ轉囑スルコトヲ得但シ司法警察官ハ此ノ限ニ在ラス」トアリマス、此條文ニ關シテ承リタイノデアリマスガ、檢事ガ裁判長カラ委囑ヲ受ケテ來ル、又其檢事ガ他ノ檢事ニ移囑スル、斯ウ云フコトノ規定ヲシタモノト思ヒマス、即チ司法官司法警察官ノ此權限ヲ認メテヤラウト云フノデアリマスガ、所ガ司法警察官ノ場合ガ省イアル此理由ヲ承リタイ、是等ハ今私ガ申ス通り、ドウモ原則ガ裁判長ガヤルベキモノデ、命令シテ檢事司法警察官ニ許シテ、サウシテ直接被告人ヲ勾引スルト云フコトガ出來ルコト云フコトハ、人權問題ヲ惹起スコトガアルト云フ場合ヲ心配シテ御尋シタルデアリマスガ、二項ニ付テ司法警察官ヲ省イタ點カラ見ルト、司法警察官ニハ轉囑ノ權利ヲ許シテハ、矢張人權問題デモ起スコトヲ御考慮ニナッテノ結果デアリマセウカ

○林政府委員 轉囑等ノ問題ニ付テハ、司法警察官モ外ノ官吏ト同様ノ權限ヲ認メルガ宜シイカドウカ、是ハ大分論議ガアリマシタガ、併シ之ヲ認メルト云フコトニナルト、司法警察官ガ他ノ司法警察官ニ轉囑スルト云フコトニナルノミナラズ、又司法警察官ガ豫審判事區裁判所判事ニ轉囑スルコトニナルノデアリマスカラ、ドウモサウ云フ事ハ適當デナイト感ジマシタカラデアリマシテ、一體司法警察官ニ勾引ヲ囑託スルト云フ事ガ既ニ變體デアリマス、先程カラ申ス通り實際上ノ必要カラ考ヘマシテ轉囑マデ認メヌデモ妨ガアルマイ、斯ウ云フ考カラ司法警察官ヲ除外シヤウ

ト云フ論デ、斯ウ云フ條文ニシテ次第アリマス、之ニ付テハソレ程深イ理由モ何モ無イノデアリマス

○横山(勝)委員 政府委員ハ此九十四條ノ規定ハ、極メテ輕ク御扱ニナル御説明デアリマス、兎ニ角司法警察官ガ人ヲ勾引スルト云フコトハ、從來ノ方針カラ申シマス、非常ナル變革デアリ、今仰セラレタヤウ必要ナ場合ガ實際アルカドウカ知リマセヌガ、兎ニ角警察官ガ人ヲ勾引スルト云フコトハ、現今ノ刑事訴訟ニ於テハ、法規ノ原則ヲ頭カラ破壊シタコトニナルト私ハ考ヘル、今政府委員ガ御舉ゲニナリマシタ事例ハ、豫審判事トカ裁判所ノ所在地ト、被告人ガ現ニ所在シテ居ル所ト離レテ居ル場合、即チ船ニ乗テ外國ヘ行クト云フ場合デアアルト斯ウ仰セラレマシタガ、九十五條デハ囑託ノ場合ガ規定シテアル、例ヘバ東京地方裁判所ノ裁判長ハ、麹町ノ日比谷署管内ニ被告人ガ現在スル場合ハ、之ヲ檢事ニ囑託シテモ、司法警察官ニ囑託シテモ差支ナイ規定ガ出來テ居ル、ソレ故ニ裁判長、裁判官檢事ガ悉ク司法當局ノ意ヲ諒得致シテ、何所マデモ人権ヲ尊重スルト云フノデアアルナラバ、吾々ハ特ニ急言疾呼スル必要ハ無イガ、併ナガラ吾々ハサウハ考ヘテ居ラス、天下到處人権蹂躪ノ事實ハ絶エナイノデアリマス、ソレ故ニ九十二條ノヤウナ規定ヲ設ケテ勾引シタル場合ニ、身體名譽ト云フモノヲ保護シヤウト云フ、注意ノ規定マデ御設ケニナル必要ヲ感ジテ居ル場合デアアル、ソレニ對シテ裁判長ガ斯ウ云フ無制限ナル權限ヲ與ヘルナラバ、裁判長ガ豫メ囑託シテ置イテ警察官ガ其名前ヲ記入シテ、勾引スルコトガ出來ナイコトモ無イ、現在ハ有ルカ無イカ知リマセヌガ、隨分昔ハ勾引狀勾留狀ト云フモノニ豫審判事ノ氏名ヲ書イテ、印刷ヲ捺シテ置イテ、或所ヘ預ケテ置イタト云フ事例ガアル、ソレニ名前ヲ書イテ持ッテ行ケバ何時デモ勾引ガ出來ルト云フ、是ハ便利デアアルカモ知レヌガ、勾引狀、勾留狀ハ裁判官ガ與ヘル趣旨ニナツテ居ルノデアアルガ、之ニ依ッテ全然人権ヲ蹂躪セラレテ居ルデ、法規ノ行使セズデモ、自由自在ニ振廻セルルガ、併ナガラ例外的ニ行使セズデモ、自由自在ニ振廻セル權利デアアル、サウスルト日本ノ司法權運用ノ場合ニ當ッテ、檢事又ハ司法警察官ガ人ヲ勾留スルト云フ事實ハ、人民ニモ或ハ又外國ノ人ニモ是ガ現レルト云フコトニナルト、ソレハ内部ニ於テ裁判長ガ、特殊ノ場合ニ囑託シテ居タト云フ所ガ、勾引セラレル者ハ諒解ガ出來ヌコトハ前段申ス通りデアリマス、サウスルト一概ニ言ヘバ、司法警察官ニ人ヲ勾引スル權利ヲ附與シタコトニナル、是ハ絕對ニ吾々ハ承認スルコトハ出來マセヌガ、サウ云フ虞ハ無イト御認ニナリマセウカドウカ、一段進シテ御意見ヲ承リタイ

○林政府委員 先程モ御答シマシタ通り、囑託ヲ致シタ

云フコトガ單ニ内部ダケデアッテ、外ニハ分ラヌト云フ關係デハアリマセヌノデ、勾引狀ニ明白ニ其事ヲ書キ、サウシテ特ニ附屬ヲ求メラレルト云フヤウナ關係ニナツテ居ル、囑託ニ依ッテ勾引狀ヲ出スルト云フコトハ、誰カラモ分ルヤウナ法律ノ立前ニナツテ居ルノデ、サウ云フ弊ハアルマイト信ジテ居リマス

○横山(勝)委員 是ハ重大ナル事デアリマスカラ、私ハ例ヲ引イテ申シテ置キマス、此司法警察官ガ今現ニ輕微ナル事件ヲ即決令ニ依ッテ裁判シテ居ル例ヲ見マシテモ、取敢ヘズ人ヲ勾引シテ來テ、留置所ニ放リ込メ置イテ、サウシテ後カラ道路妨害デアアルトカ、輕微ナル罪名ヲ付ケテ、サウシテ徐々ニ取調スルト云フヤウナ例ガ屢々アルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、ソコデ吾々ガ常ニ司法警察官ニ向ッテ、何故現行犯デモナイ人間ヲ勾留スルカト云フコトヲ、法律ノ表面カラ責メテ行キマス、ソレハ違警罪即決令ニ依ッテ斯ウ云フ罪名ヲ附ケテ罰シテ居ルノダト言フ、所ガ違警罪即決令ニハ、警察署長ガヤルコトニナツテ居ル、然ラバ署長ニ聽クト、署長ハマダサウ云フコトハ知ラナイケレドモ帳面ニハ記入シテアル、斯ウ云フヤウナ場合ガ屢々アル、即チ上司ノ命令ガ無イニモ拘ラズ、司法警察官ガ人ヲ牢獄ニ投ジテ、サウ云フ裁判形式ヲ以テ被告ヲ勾引シテ置イテ、後カラ裁判ヲ爲ス署長ニ報告スルト云フ例ハモウ警察到ル處ニアル、サウ云フ例ハソレハ取締振ガ惡イノデ法律ガ惡イノデハナイト仰シヤルカ知レマセヌガ、サウ云フ人権蹂躪ノ虞ノアル事ヲ、法律ガ其原因ヲ助ケル一ツニナル、本案ノ九十四條モ矢張サウデス、斯ウ云フ事情ガアルト云ウテ現ニ勾引狀ヲ「ボツケッ」ニ入レテ、勾引狀ハ後カラ見セルカラ來イ、即チ九十四條ノヤウナ規定ガアレバ、今日以後ニ於テハ、吾々ハ警察官ニ向ッテ人ヲ勾引スルノハ、ソレハ九十四條ノ規定ニ依ッテ矢張囑託書ヲ見セ、囑託書ハ見セル限リニ非ズ斯ウ言フナラバ、全ク警察官ニ對シテ人権蹂躪ヲセヨト云フ規則ニナルト私ハ考ヘル、司法當局ノヤウナ公明正大ナ御考ヲ持ッテ居ル警察官ハ餘リ多ク無イ、人ヲ捕ヘテ來テ、一人デモ犯罪人ヲ多ク擧ゲレバ、年末ノ賞與ガ多クナルト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル、サウ云フ人ヲ對手ニ斯ウ云フ明文ヲ設ケテ、司法警察官ニ偉大ナル權利ヲ與フル、裁判長ガ勾留狀ヲ發スルト云フ原則ヲ根柢カラ破壊スルコトニナルト思ヒマス、ノミナラズ私ノ言ウタコトガ司法當局ニアルト云フコトハ、第二項ニ於テ「受託官署ハ受託ノ權限アル官署ニ轉囑スルコトヲ得」ト云フ規定ヲ設ケテ、即チ區裁判所ノ檢事ニ之ヲ許シ、司法警察官ニ之ヲ許シテアルト云フコトデアアル、ケレドモ先刻政府委員ノ説明ノ如キ事情デアアルト、今横濱カラ船ニ乗ッテ遁ゲルトカ、神戸

ノ港カラ遁ゲルト云フ場合ニ、檢事ト云フヨリハ、司法警察官ノ方ガ勾引スル立場ニ立ッテ研究スル必要ガ重大デアアル、矢張人権問題ヲ考慮シテ、此規定ヲ設ケテアルト私ハ考ヘルノデアリマスカラ、檢事又ハ司法警察官ガ人ヲ勾引スル權利ガアルト云フコトヲ事ハ、假令例外デアッテモ、認メザルコトヲ以テ法案ノ趣旨トスルノガ相當デアアル、殊ニ人権ヲ尊重スル立法ヲ爲シツアル今日ニ於テ、斯ウ云フ條文ヲ作ルト云フコトハ、私ハドウシテモ承認スルコトガ出來ヌト思フ、更ニ進シテ今私ノ申シタ事ハ絕對ニ起ラヌト御考ニナルカ、特ニ聽イテ置キタイ

○林政府委員 今御尋ノ中ニ、司法警察官ガ勾引スル場合ニ、勾引狀ナドヲ見セズシテ先ヅ引張ッテ行ッテ、後デ勾引狀ヲ見セルト云フコトヲ言ハレバ仕方ガナイ、ソレ故ニ人権蹂躪ノ弊ガ起ルト云フ御話ガアリマシタガ、本案ニ於テハ其點ハ實ハ色々研究シ注意ヲ加ヘマシタ、百三條ニ「勾引狀ヲ執行スルニハ之ヲ被告人ニ示シテ指定セラレタル裁判所ニ引致スヘシ」ト斯ウアッテ、執行スル場合ニハ示スコトニナツテ居ル、此案ニ於テハ今御話ノヤウナ事ハ起ラス積リデアリマス

○横山(勝)委員 意見ノ相違ハ致方アリマセヌガ、私ノ意見トシテハ、矢張檢事司法警察官ニ引致ノ權利ヲ與ヘ、勾引ノ權利ヲ與ヘルコトハ何所マデモ反對デアアル、隨テ第二項第三項共ニ修正ヲ要スル事項デアアルト云フコトヲ、豫メ申上ゲテ置キマス

○秋山政府委員 此勾引狀ノ執行ハ、結局檢事司法警察官ニ依ッテ爲サレルノデアリマス、判事ガ勾引狀ヲ發シテ、之ニ執行スル者ハ檢事司法警察官デアリマス、檢事司法警察官ガ勾引狀ヲ發付スルト云フコトガ、之ヲ力ヲ入レラレテ、横山君ハ御考ヘノヤウニ見エマスガ、之ヲ純理ダケカラ論ジマス、勾引狀ト云フモノガ、改メタヤウニナリノデアリマスガ、勾引狀ト云フモノガ、裁判長自身ノ手ヲ作成セラレルモノト、囑託ニ依ッテソレガ檢事司法警察官ノ手ヲ作成セラレルモノト、其作成セラレル所ガ違フダケデアリマス、裁判長ハ九十四條ノ場合ハ囑託ノ形ヲ以テ發動スル、他ノ場合ハ裁判長ガ勾引狀ヲ作成シテ發動スル、勾引狀ヲ作成シテ發動スルト云フコトハ、囑託ヲシテ、謂ハバ裁判長ノ筆ノ先カ唯ダ少シ長クナルダケノ違デアリマシテ、何所マデモ裁判長カラ發動スル、裁判長ノ作成シタ勾引狀ガ檢事ノ手ニ渡リ、司法警察官ノ手ニ渡シ、執行セラレルノデアリマス、唯タソレヲ離レテ居リマスカラ、此方デ拵ヘタ勾引狀ヲ送ッテヤルト云フコトデアハ間ニ合ハナイ、其方デ勾引狀ヲ作ッテサウシテソレヲ執行セヨ、斯ウナルノデアリマスカラ、實質ニ於テハ差異ガナイト考ヘテ居ルノデス

○横山(勝)委員 議論ハ避ケタイノデアリマスガ、今秋山政府委員ノ御話ノヤウナ理由デアレバ、尙更私ハ反對セザルヲ得ナイ、ソレ程ノ必要ガ無イナラバ、直ニ司法警察官ノ受託ニ依リ、人ヲ勾引スルノ權利アリト云フコトヲ、法律ノ表面ニ現ハス必要ハ無イジヤアリマセヌカ、ソレナラソレ今日電信モ汽車モ、交通機關モ通信機關モ、發達シテ居ル世ノ中デアリマスカラ、何モサウ特殊ノ規定ヲ設ケテ、從來ノ立法ニ無イ檢事ト司法警察官ガ、人ヲ來イト云フ權利ヲ現スト云フ必要ハ尙更無イと思ヒマス、デアリマスカラ、依然トシテ私ハ私ノ説ヲ固持シテ居リマスカラ

○秋山政府委員 今………

○鶴澤委員長 ドウデス、ソレハ意見ノ相違ノヤウデスカラ——第九十五條、是ハ別ニ無イデセウ

○鈴木委員 別ニ質問ト云フ程デアリマセヌカ、「人相書」ト云フ文字ガアリマス、是ハ現行法ノ九十條、八十條ニモアルヤウデスカ、個人ヲ識別スルニモウ少シ進歩シテ手段ハアリマセヌカ、人相書デスルニ云フハ、昔風ナ方危険ナヤウニ思ヒマスガ、是ハ仕方ガアリマセヌカ

○林政府委員 御尋通り人相書ガデハ實際不便ナコトガアルノデアリマスガ、併シ法律ノ要件トシテハ、兎ニ角人相書ヲ付ケテト云フコトニ致シテ置キマシテ、實際ノ必要ニ應ジテ、人相書以外ノモノヲモ使ツテモ宜シイノデアリマス、ソコハ實際ノ運用ニ任シテ宜カラウト考ヘマス

○鈴木委員 サウスルト、此中ニ指紋ナドハ無論這入リマスナ

○林政府委員 無論入レテ宜カラウト思ヒマス

○横山(勝)委員 此九十六條ノ拘引狀ヲ發シテ、サウシテ人ヲ引致シテ來タ場合ニ四十八時間以内ニ其人ニ相違ナキヤ否ヤヲ取調フヘシトアリマス、是ハ立法ノ趣旨ハ贊成デアリマスガ、人相書等ニ依ツテ其本人カドウカラ調ベルニ、四十八時間ト云フノハドウ云フ譯デアリマスガ、餘リ緩慢デナイカト思ヒマス、一寸見レバ直グ分ルモノデス、寫眞ナリ人相書ガアル年輪ガ適當シテ居ルカ、人相ガ合ッテ居ルカト云フコトハ、吾々民間カラ考ヘルト一瞥シテ分ル、ソレハ勾引シテ來テ四十八時間猶豫シテ、四十八時間打捨テ、置イテ宜シイト云フハ、如何ニモ御役所ノ事デアルト云フモノカ、緩慢ニ失スルト考ヘマスガ、此四十八時間ト云フ根據ヲ承リタイ

ノハ、寫眞ト實物ト對照スルト云フヤウナ場合デアリマスト宜イノデアリマスガ、ドウモマダ他ノ事情ヲ取調ベナケレバナラヌ必要ヲ生ズルコトガ時々起ルノデアリマス、或ハ見知合ノ者ヲ呼ンデ、何某ニ相違ナイカト云フコトヲ調ベル必要ガアリマス、遠イ所ヘ送ルノデアリマスカラ送ラレル、被告人モ間違ハレテハ非常ナ迷惑デアリマス、可ナリ面倒ナ取調ヲ要シナケレバナラヌノデ、ソレカラ實際ノ吾々ノ經驗カラ申シマシテモ、其指定サレタ裁判所ニ送致スルニ當リマシテモ、種々準備ヲ要スルノデアリマス、人ヲ附ケテ送ルニ致シマシテモ、其附イテ行ク人間ガ準備ヲスル必要モアリマス、是ハ斯様ニ致シテ置キマシテモ、四十八時間ハ必ズ置クト云フノデアリマセヌ、四十八時間内ニ少ナクとも四十八時間内ニ、是ハ調ベナケレバナラヌト云フ制限デアリマシテ、其實際上カラ申シマス、他ノ官廳ノ囑託ニ依リマシテ被告人ヲ勾引スル場合ハ、多ク其官廳ハ極力急グノデアリマス、ソナ例カラ申シマシテ、大阪カラ東京ニ被告人ノ勾引ヲ囑託シテ來ル、其場合ニ例ヘバ警視廳ガ之ヲ執行致シマシテモ、警視廳トシテ費用ヲ減ズルト云フコトハ、常ニ注意シテ居ルノデアリマスカラ、長ク留置クト云フコトハ極力避ケルノデアリマス、人違デナイイコトガ確マレバ、早速其方面ニ向ッテ送致スルノデアリマシテ、此所ニハ從來ニ於テモ、九十六條ノヤウナ場合ニハ、人權蹂躪ト云フヤウナ事ノ起ルコト云フヤウナ餘地ハ無カタラウト思ヒマス、成ベク早く其囑託所ニ送ラウトスルノガ普通ノ傾向デアリマス、併ナガラソレ餘リ短イ時間ニシテ置キマシテ、不完全ナ取調デハ人違ノ人間ヲ送ツタト云フヤウナコトガアッテハ、是コソ由々シキ事デアリマス、先ヅ四十八時間モアッテ、十分デアラウト云フ從來ノ經驗等ヲ參酌シテ、時間ノ制限ガ現レタ次第デアリマス

○鶴澤委員長 第九十七條

〔無シ〕ト呼フ者アリ

○鶴澤委員長 九十八條

○横山(勝)委員 此九十八條ニ「前條第一項及第二項ノ規定ハ第九十四條第四項及第九十五條第二項ノ勾引狀ニ付テ準用ス」トアリマス、サウスルト被告人ノ住所ガ分ラヌ時分ニ、勾引狀勾留狀ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス、氏名ガ分明ナラヌトキニ、容貌體格其他ノ長所ヲ以テ示スベシト云フ此規定ヲ、九十四條ノ四項ト九十五條ノ二項ノ勾引狀ニ準用スルト云フコトニナルト、此九十四條ノ四項ノ勾引狀ト九十五條ノ勾引狀ト云フモノガ、極メテ寛大ニ取扱ハルルコトニナルト考ヘマス、準用スルト云フト、矢張是ハサウ云フ事ヲシナイデ、本則通りニヤッタラドウ云フモノデス、即チ質問ノ意味ハ九十八條ノ「第二項」ト云フ字ヲ削ツタラ

ドウカ、斯ウ云フコトニ歸著スル

○林政府委員 第二項ヲ削ルト云フコトハ、ドウモ實際上工合ガ悪カラウト思ヒマス、囑託ヲスルヤウナ場合ニモ、住所分明ナラヌ者モ無論アリマス、ソレカラ又氏名ノ分ラヌ者モアルノデアリマス、サウ云フヤウナ場合ニ、第二項ト同ジヤウニシテ置ク外ニ途ガ無イト考ヘマスガ、實ハ一寸御尋ノ趣意モ十分了解シ兼ネル位デアリマス

○横山(勝)委員 要スルニ九十八條ノ規定ニ依ツテ、九十七條ノ二項ノ規定ヲ、九十四條ノ四項ト、九十五條ノ二項ノ場合ニ準用スルト云フコトニナレバ、現ニ住所ガ分ラヌ居ッテモ、ソレカラ住所ヲ書カヌデモ宜イト云フ結果ヲ、生ジヤモスカト云フコトヲ虞レル、詰リ九十四條九十五條ノ規定ニ從ッテ轉囑ヲシタリ、囑託ヲシタリ、人相書ヲ書ク場合ハ、九十五條ノ場合ハ別デアアルガ、九十四條ノ場合サウ云フ輕便ナ方法ニ依ツテナイデモ宜シカラウト斯ウ云フデアリマス、詰リ私ノ心配スルハ九十八條ノ規定ガアリマス、爲ニ、現ニ分ッテ居ル者モ、住所ヲ書カヌデモ宜イト云フ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマス、之ヲ準用ストアリマスカラ……

○林政府委員 第九十七條ノ第二項ニハ「被告人ノ住所分明ナラサルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要セス」トアリマスガ、此規定ヲ準用スルノデアリマスカラ、矢張住所ノ分明デナイ者ハ記載シナイデモ宜イト云フコトニナルノデ、記載セヌデモ宜イト云フコトニハ、準用ト云フ文字ノ一般ノ意味カラ申シマシテモナラヌト信ジテ居リマス、サウ云フ意味デアリマスカラ、御心配ノヤウナコトハ決シテ解釋上起ルマイト考ヘマス

○鶴澤委員長 第九十九條、第百條——今日ハ百條迄ニシテ置キマス、明日ハ午前中ダケデアリマスカラ、成ベク十時カラヤリタイト思ヒマス

○横山(勝)委員 成ベクデナシニ願ヒタイ

○鶴澤委員長 正確ナラバ尙ホ結構デス、正十時ト云フコトニ致シマス、二十三日二十四日ハ休息、二十四日ハ普選ガ若シ無ケレバヤルコトニシタイト思ヒマス

午後五時三十三分散會